

船の科学館

海の学びミュージアムサポート

プログラム1「海の企画展サポート」

申請フォーム
マニュアル

Ver 1.0

目次

本マニュアル内の記載の書き分け
・「○ページ」: 申請フォームのページ数
・「p.○」: 本マニュアルのページ数

I. はじめに

- 本マニュアルについて
- ご申請前の準備
- 支援申請書入力にあたり
- 自動保存について
- フォーム入力時の注意事項
- 添付資料について
- 申請受付期間について

II. 支援申請書について

- 記入時の注意事項
- よくある質問

III. 申請事業予算書について

- 記入時の注意事項
- 計算間違いについて
- 表記のブレについて

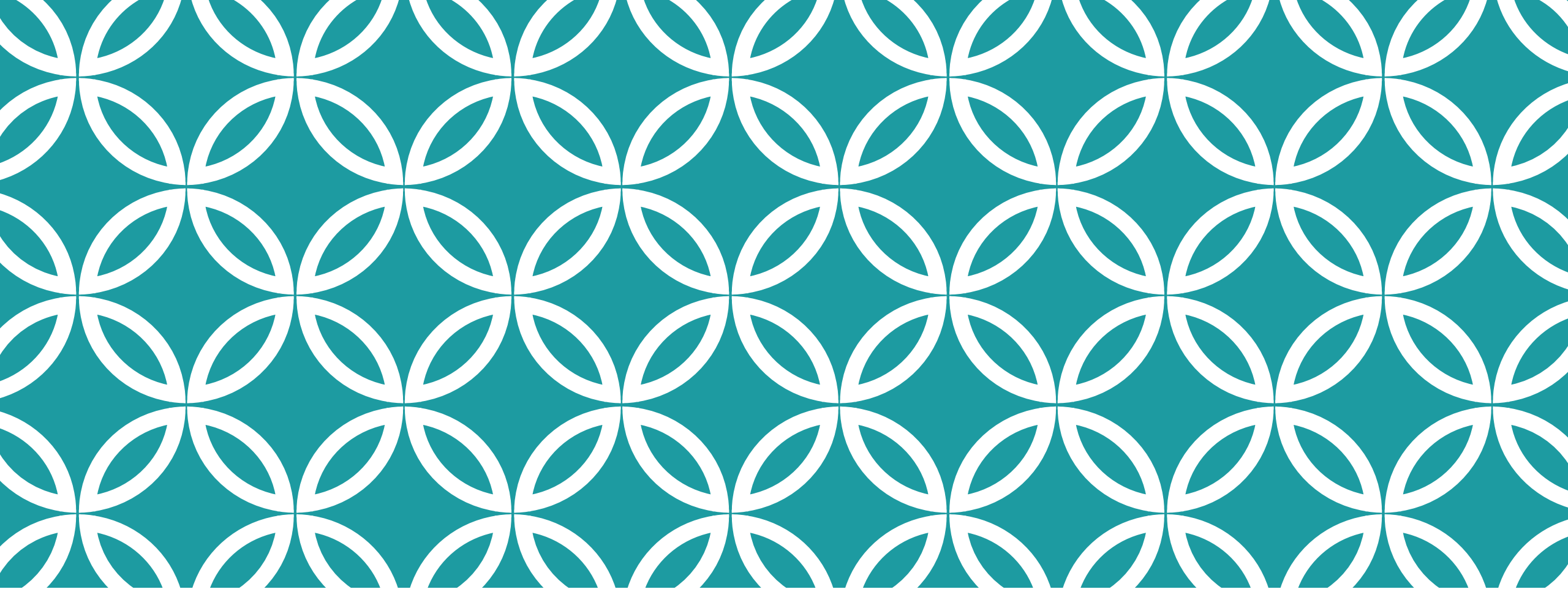
IV. 申請フォーム記入

- 申請フォーム項目とページ数について
- 0. 申請について
- 1. 申請者
- 2. 申請事業
- 3. 添付資料
- 4. 事業計画

- 5. 事業成果物
- 6. 広報計画
- 7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細
- 8. 本企画展に関連した他の博物館や機関、学校など地域社会との連携について
- 9. 博物館基本情報
- 10. 簡易アンケートご協力をお願い
- 申請完了について

V. 申請後

- 回答の編集について
- 選考結果について



I. はじめに |

本マニュアルについて



- 本マニュアルは、申請フォーム記入の基本的な流れや注意事項を説明するものです。
- 支援対象事業を実施する際には、条件や留意事項があります。条件や留意事項の詳細につきましては、関係書類・書式を必ずご参照ください。



こちらよりダウンロードをお願いします

https://uminomanabi.com/support/p1_support/

- ・プログラム1「海の企画展サポート」支援実施要領
- ・プログラム1「海の企画展サポート」支援実施ガイドブック

ご申請前の準備

➤ Googleアカウントの登録のお願い

ファイルをアップロードする場合、Googleアカウントが必要です。Googleアカウントをお持ちでない場合、現在使用中のe-mailアドレスで登録が可能です。登録は以下のURLから設定をお願いいたします。

<https://accounts.google.com/SignUp?service=writely>

➤ メール受信設定のお願い

申請受領確認メールを受信できるよう、申請前に迷惑メールフィルタ等の設定をお願いいたします。

メールが届かない場合、あるいは迷惑メールフォルダにない場合は、必ず事務局までお問い合わせください。

支援申請書入力にあたり



- お手元に、下書き済みの「支援申請書」、提出用の「支援事業予算書」をご用意の上、ご入力ください。

支援申請書

申請事業予算書

- 下書き済みの「支援申請書」の用意がないと、受領確認メールの不具合等により、申請後に内容を確認できない可能性があります。

こちらよりダウンロードをお願いします
https://uminomanabi.com/wp-content/uploads/2025/p1_apply.zip

自動保存について

- ブラウザの「戻る」ボタンを押すと、記入内容が消える場合がありますのでご注意ください。
- Google アカウントでフォームに入力すると、下書きとして30 日間自動保存されます。
フォームの入力を完了できない場合でも、次回フォームを開けば途中から再開できます。
※重要: オフラインの場合、自動保存は機能しません。

■ Google フォームに入力途中の回答を自動保存する

<https://support.google.com/docs/answer/10952360?hl=ja>

フォーム入力時の注意事項

- 必須項目で記入しない場合は「なし」とご記入ください
- 数字は「半角」でご入力ください
- 人数や金額には「, 」などの記号は付けずにご入力ください

The diagram illustrates the correct input format for a form field. It is divided into two panels by a blue arrow pointing from left to right.

Left Panel (Error State): Labeled "エラー" (Error) in a yellow box. The form field is titled "支援申請金額*" (Support Application Amount*) and "(単位円)" (Unit: Yen). The input value is "4,000,000". Below the input, a red error message reads: "❗ 整数を指定してください" (Please specify an integer). A yellow box at the bottom of this panel states: "金額等に「, 」を付けた状態で入力するとエラーが出ます" (An error occurs when you input with commas in the amount, etc.).

Right Panel (Inputable State): Labeled "入力可" (Inputable) in a blue box. The form field is titled "支援申請金額*" (Support Application Amount*) and "(単位円)" (Unit: Yen). The input value is "4000000".

添付資料について

サポートHP内※再掲

●公募資料ダウンロード

- 各種様式
 - 支援申請書 [↓](#)
 - 支援申請書
 - 申請事業予算書
 - 関係書類案内

上記ファイルは下記よりダウンロードをお願いします

https://uminomanabi.com/wp-content/uploads/2025_p1_apply.zip

ご申請いただく全員の方に添付いただく資料

- ①申請事業予算書※必須
- ②開催館のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料
- ③申請事業に関する補足資料(別途資料がある場合)

実行委員会等の任意団体が申請者の場合

- ④申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績などの写し

指定管理者がある場合

- ⑤指定管理者契約等の契約書の写し

開催博物館との直接的な関係性の無い団体が申請する場合

- ⑥覚書

①「申請事業予算書」は必須資料です。

②～⑥は該当する項目に合わせてご提出をお願いします。

次のページに続きます

添付資料について(続き)

「申請者」と「開催博物館」の関係性					必要な添付書類	
			申請の例		共通	追加
「申請者」 =「開催博物館」	パターン【A】	「開催博物館」が申請	申請者	〇〇県立自然史博物館	①申請事業予算書 ②開催館のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料 ③申請事業に関する補足資料(別途資料がある場合)	—
			開催博物館	〇〇県立自然史博物館		—
			博物館の所有者	〇〇県		—
	パターン【B】	「開催博物館の所有者」が申請	申請者	■ ■ 町		—
			開催博物館	■ ■ 町立資料館		—
「申請者」 ≠「開催博物館」	パターン【C】	「開催博物館の所有者」から「指定管理を受けた団体」が申請	申請者	公益財団法人★★	⑤指定管理者契約等の契約書の写し	⑤指定管理者契約等の契約書の写し
			開催博物館	〇〇科学館		
			博物館の所有者	◆ ◆ 県		
	パターン【D】	「所有者を含む実行委員会」が申請	申請者	◎◎実行委員会 ※会長は△△市科学館館長	④申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績などの写し	④申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績などの写し
			開催博物館	△△市科学館		
	パターン【E】	「開催博物館との直接的な関係性の無い団体」が申請	博物館の所有者	△△市		⑥覚書
			申請者	NPO法人★★		
			開催博物館	〇〇市立美術館		
			博物館の所有者	〇〇市		

次のページに続きます

添付資料について(続き)

- 添付資料は、「申請事業予算書」を除き、できる限りPDFデータをお願いいたします。
- 各ファイル名、フォルダ名に「博物館名」を追記してください。
- フォーム内では、1ファイル1ギガまでアップロードできます。
そのため「ZIPファイル」に圧縮してからアップロードをお願いいたします。

【添付例】

ファイル名	ファイル形式
2025P1申請事業予算書 ○○博物館	excel
年間行事予定表 ○○博物館	pdf
借用予定資料一覧 ○○博物館	pdf
指定管理者契約書 ○○博物館	pdf

フォルダ名

2025年度プログラム1添付資料
○○博物館

ZIP化

申請受付期間について

➤ 申請受付について

申請受付期間は、2024年11月1日～12月15日です。

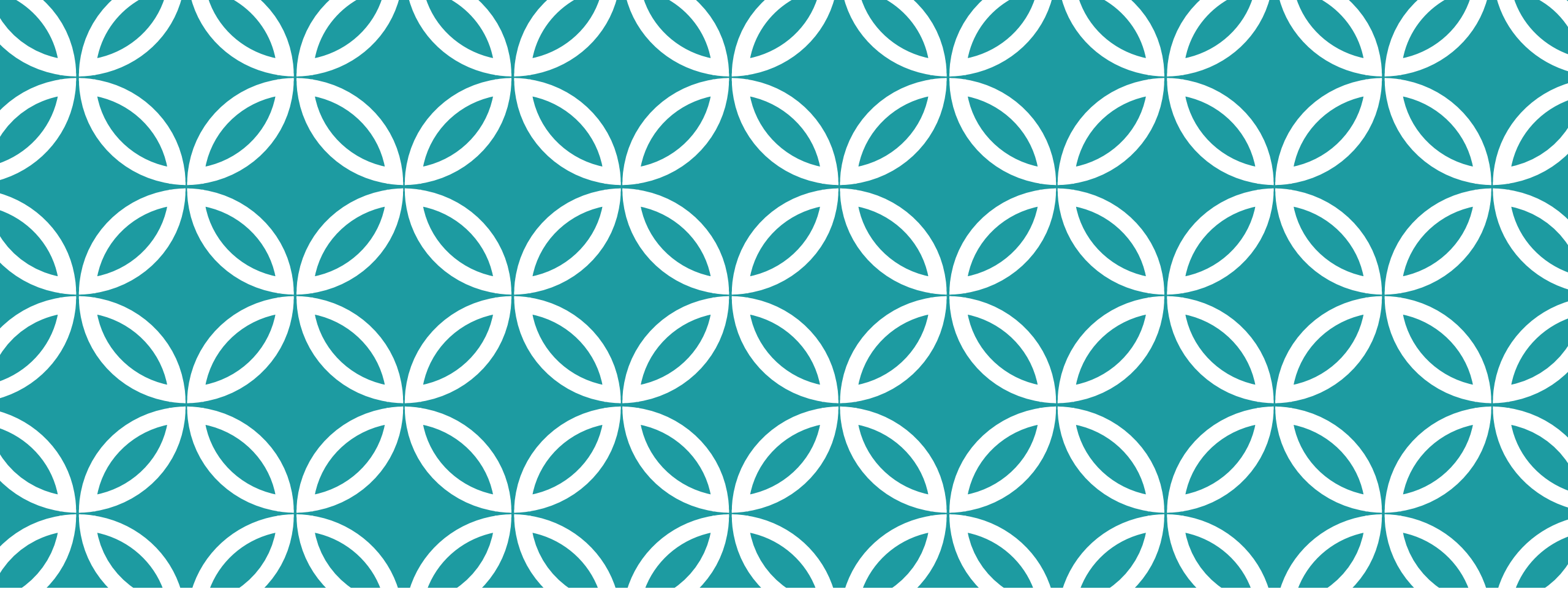
申請フォームは、2024年12月16日0:00にアクセスができなくなります。

➤ 回答の編集について

申請受付期間中、回答について編集することができます。詳しくは、本マニュアル「回答の編集について(p. 60～61)」をご一読ください。修正に関するお問い合わせ・対応については、サポート事務局ではお受けいたしかねます。

➤ 提出書類保管について

申請いただいた書類やデータについては、提出版を必ず保管してください。



II. 支援申請書について

記入時の注意事項

- 支援申請書内の数字については、書類内で数字が合うように確認をお願いいたします。

【記載例】付帯事業の合計人数(「4. 事業計画」内)

4. 事業計画

開催に関する基本情報	
開催場所（博物館名）	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入。
展示会場の面積（㎡）	海洋博物館 3階 企画展示室／300㎡
目標入場者数	① 企画展 10,000 人、②付帯事業 1,000 人【合計 11,000 人】
※参考：申請会期の前年度入場者数	10,000 人
共催・後援・協力者名称等	共催：海洋研究所、後援：教育委員会

7-(2).付帯事業について

付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細

(「海の学び」に関する工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

- 付帯事業名称:ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう
- 日 時:2025 年 7 月 19 日～21 日、1 日 1 回、10 時～12 時
- 場 所:海洋博物館ワークショップルーム、○○海岸
- 参加予定人数・開催回数:50 名×3 回、合計 150 名

各付帯事業の参加予定人数

活動① 150名
活動② 800名
活動③ 50名
合計 1,000名

よくある質問

●開催期間と事業期間について(「2. 申請事業」内)

2. 申請事業

事業概要	
事業名 (企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」
事業期間	2025年4月1日～2025年12月31日 ※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。
企画展・付帯事業 開催期間	会期：2025年7月19日～2025年9月21日 実開催日数計：56日間（会期中の休館日等を除く）

事業期間とは

企画展・特別展の開催に必要な業者契約、展示物製作、資料借用・返却、会場設営・撤収などのほか、全ての支払いが完了する期間のこと。

事業期間終了後、15日以内に、事業完了報告書を提出ご提出いただきます。

事業完了後に支援金の振込を希望される方、年度内に支援金の振込が必要な方は、事業期間の終わりの日にお気を付けください。

会期とは

企画展・特別展が開催されている期間のこと

付帯事業は、会期中に行われるものが対象となります。会期外に付帯事業を行う場合は、該当する付帯事業の活動内容に会期外に行う理由も併記をお願いいたします。

よくある質問

●申請会期の前年度入場者数について(「4. 事業計画」内)

4. 事業計画

開催に関する基本情報	
開催場所(博物館名)	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入。
展示会場の面積(m ²)	海洋博物館 3階 企画展示室/300 m ²
目標入場者数	① 企画展 10,000 人、②付帯事業 1,000 人【合計 11,000 人】
※参考: 申請会期の前年度入場者数	10,000 人
共催・後援・協力者名称等	共催: 海洋研究所、後援: 教育委員会

事例①

2024年度の同時期の企画展がまだ終了していない
→2023年度の同時期の入場者数をご記入ください

事例②

該当期の企画展が特別な事情で通常よりも多かった
→通常の同時期の入館者数をご記入ください

よくある質問

●年間事業費と年間運営費(「9.博物館基本情報」内)

下記の項目にあった金額をそれぞれご記入ください

年間事業費

前年度の教育普及活動・学芸活動にかかった費用

年間運営費

前年度の施設・団体・機関の運営にかかった費用

年間運営費

年間事業費

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

9.博物館基本情報

9-(1).博物館情報

設立分類	・国 ※該当を○で囲んでください ・地方公共団体 ・独立行政法人 ・一般社団法人 ・公益社団法人 ・学校法人 ・宗教法人 ・NPO 法人 ・会社組織 ・その他()
開催博物館の種類	・総合博物館 ※該当を○で囲んでください ・歴史博物館 ・美術館 ・科学博物館 ・水族館 ・動物園 ・植物園 ・文学館 ・図書館 ・その他()
博物館の種類	・登録博物館 ・博物館相当施設 ・博物館類似施設 ・その他()
公式ウェブサイト URL 等	【HP】 http://www.00000000.or.jp/
常設展示のおもな内容	・○○○○コーナー：○○○や○○○○を展示 ・▽▽▽▽コーナー：□□□のほか○○○○○などを中心に展示 ・○○○○ゾーン：○○○や○○○○を展示 ・××××ゾーン：□□□や△△△△を展示しイベント展開
展示関連要員数/合計職員数	15人/30人
年間事業費/年間運営費(前年度)	10,000,000 円 / 1,500,000,000 円
年間入場者数 ※前年度までの3箇年分	2021年度:100000人 2022年度:100000人 2023年度:100000人

9-(2).過去に開催した「海の学び」につながる主な企画展・特別展の名称・会期・入場者数

名称	会期	入場者数
海の生き物大集合!	2022年7月20日～2022年9月30日	12000人
	年 月 日～ 年 月 日	人

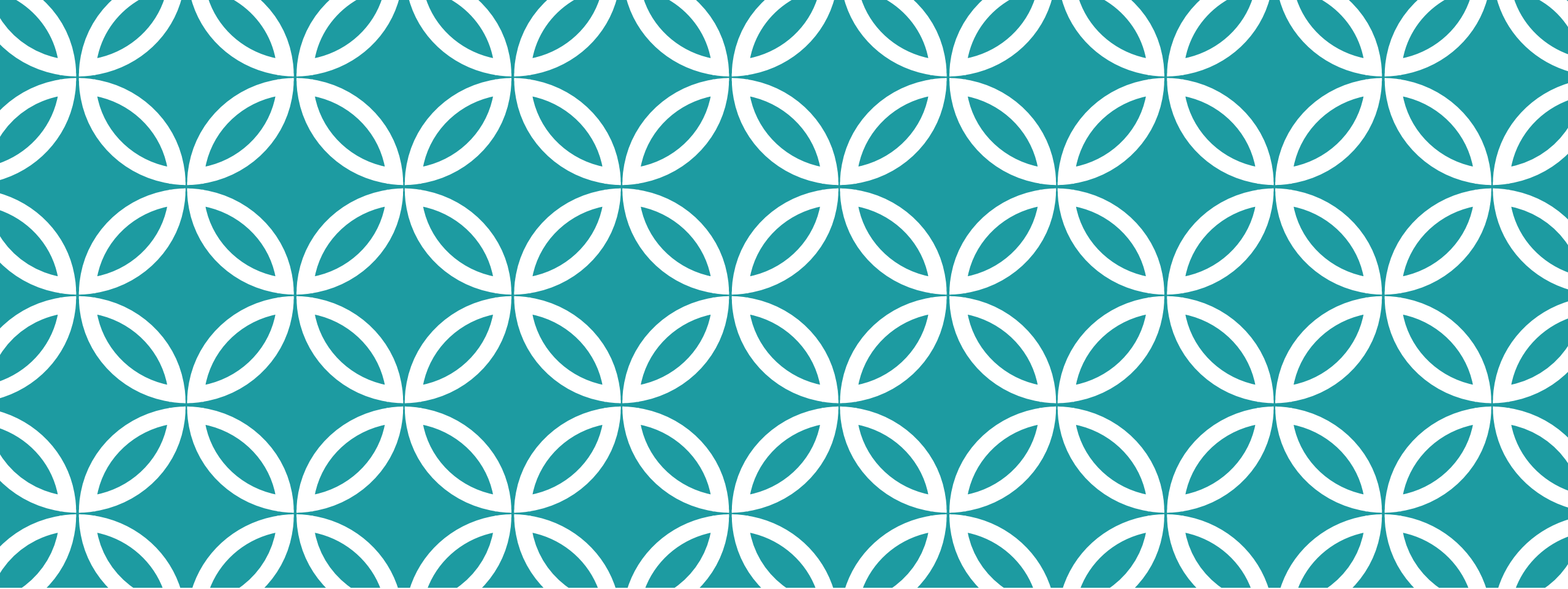
9-(3).「海の学び」につながる企画展・特別展以外の博物館活動

名称	概要
生き物探検隊	磯の生き物観察会

9-(4).学校との連携事業

名称	概要
環境学習の実施	総合的学習の時間にて、学年に応じた海に関する環境学習の実施

10.簡易アンケートご協力をお願い
ご申請にあたり、本サポートについてどちらでお知りになりましたか?該当項目に☑をお願いします。
※なお、本質問に対するご回答と選考は一切関係ありません。
□「海の学び ミュージアムサポート」ホームページ □船の科学館からのダイレクトメール
□日本博物館協会からの案内 □日本動物園水族館協会からの案内
□他館からの紹介 (さしつかえなければどちらの館か教えてください) ()
□その他 () ご協力いただき、ありがとうございます。



III. 申請事業予算書について

記入の時の注意事項

- 空行を作らず不要な行は詰めてください。
- 単価×数量が1,000円単位になるように、「単価」の調整をお願いします。

1. 事業全体における展示部分に関する事業費詳細(付帯事業を除く事業費全般) (円)

誤	費目	No.	摘要	単価	数量	計	費目小計
	旅費交通費	1	県内資料調査(5か所、1名)	3,150	5	15,750	95,510
		2	県外資料収集出張費(2カ所、1名、関西方面)	39,880	2	79,760	
		3				0	
		4				0	
		5				0	

1. 事業全体における展示部分に関する事業費詳細(付帯事業を除く事業費全般) (円)

正	費目	No.	摘要	単価	数量	計	費目小計
	旅費交通費	1	県内資料調査(5か所、1名)	3,000	5	15,000	95,000
		2	県外資料収集出張費(2カ所、1名、関西方面)	40,000	2	80,000	

次のページに続きます

記入の時の注意事項(続き)

- 支援申請金額が「万単位」になっているか確認をお願いいたします。
- 支援率は、小数第三位以下を繰り上げて小数点第二位まで記載をお願いいたします。(自動計算で表示されます)

誤

3. 申請事業予算の内訳

項 目	金額(円)
申請事業の事業費総額:【A】+【C】	5,500,510
支援申請金額(事業費総額【A】+【C】の上限80%) ※万単位	4,312,000
自己負担額	1,188,510
支援率(上限80%)	78.393%
※支援率は少数第三位以下を繰り上げて、少数第二位まで表示すること。	

正

3. 申請事業予算の内訳

項 目	金額(円)
申請事業の事業費総額:【A】+【C】	5,500,000
支援申請金額(事業費総額【A】+【C】の上限80%) ※万単位	4,000,000
自己負担額	1,500,000
支援率(上限80%)	72.73%

※支援率は少数第三位以下を繰り上げて、少数第二位まで表示すること。

計算間違いについて

計算式は自動で出力されるようになっていますが、追加修正の過程で計算式が変わったり消えたりしている事例があります。各セルの計算結果が正しいかどうか、チェックをお願いいたします。提出後に金額の変更は行うことはできません。

【よくある間違い】

印刷費	3	チラシ印刷(20,000部・色校正含む)	250,000	1	250,000	=SUM(G5:G11)
	4	ポスター印刷(100部・色校正含む)	70,000	1	70,000	
	5	展示解説書印刷費(5000部)	390,000	1	390,000	
	6	出展作品図録(1000部)	305,000	1	305,000	
委託費	7	講座「テキスト」(100部)	20,000	1	20,000	4,330,000
	8	企画展ポスター・チラシデザイン作製	250,000	1	250,000	
	9	借用資料運搬費(関西方面)	3,500,000	1	3,500,000	

SUMの範囲ミス

2. 事業全体における付帯事業に関する事業費詳細(当該付帯事業に限られた事業費)						(円)
(1) 付帯事業【付帯事業名: ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう】						
費目	No.	摘要	単価	数量	計	費目小計
消耗品費	1	工作用材料(150名分)	200	150	3,000	3,000
合計(B①)						3,000

※千円未満切り捨て

「計」の計算式を手入力で行い計算間違い

表記のブレについて

➤ 記載の一致

申請書内の「事業成果物」内の記載内容と予算書内の記載内容が一致しているようにお願いいたします。

他、「支援事業予算書」には記載があり「支援申請書」に記載がない等も同様です。

表記のブレ

支援申請書

5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。

別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。

5-(1).印刷物件（製作物/サイズ/枚数）

例）企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚

①ポスター B2判 100 枚

② チラシ A4判 20000 枚

③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部

④ 出展作品図録 A4判 4色刷 50 項 1000 部

⑤講座「テキスト」A4判 100 部

5-(2).制作物件（展示資料、看板等 製作物件）

例）館内用看板（ターポリン）

①屋外看板

②地域の海を紹介する動画 3 点

③エントランスバナーなどの看板

④海生動物のゲル封入標本 10 点

⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点

申請事業予算書

印刷費	3	チラシ印刷(20,000部・色校正含む)
	4	ポスター印刷(100部・色校正含む)
	5	パンフレット印刷費(5000部)
	6	出展作品図録(1000部)
	7	講座「テキスト」(100部)

次のページに続きます

表記のブレについて(続き)

▶各表題について

支援申請書と申請事業予算書の記載が同一になるように確認をお願いいたします。

表記のブレ:支援申請書と申請事業予算書での付帯事業名が異なる

申請事業予算書						
2. 事業全体における付帯事業に関する事業費詳細(当該付帯事業に限られた事業費)						
(1) 付帯事業【付帯事業名: 海ごみワークショップ】						
費目	No.	摘要	単価	数量	計	費目小計
消耗品費	1	工作用材料(150名分)	200	150	3,000	3,000
合計【B①】						3,000
※千円未満切り捨て						

7-(2).付帯事業について

付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細

(「海の学び」に関する工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

- 付帯事業名称: ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう
- ① 日 時: 2025 年 7 月 19 日～21 日、1 日 1 回、10 時～12 時
- 場 所: 海洋博物館ワークショップルーム、〇〇海岸

支援申請書

次のページに続きます

表記のブレについて(続き)

▶付帯事業の予算計上について

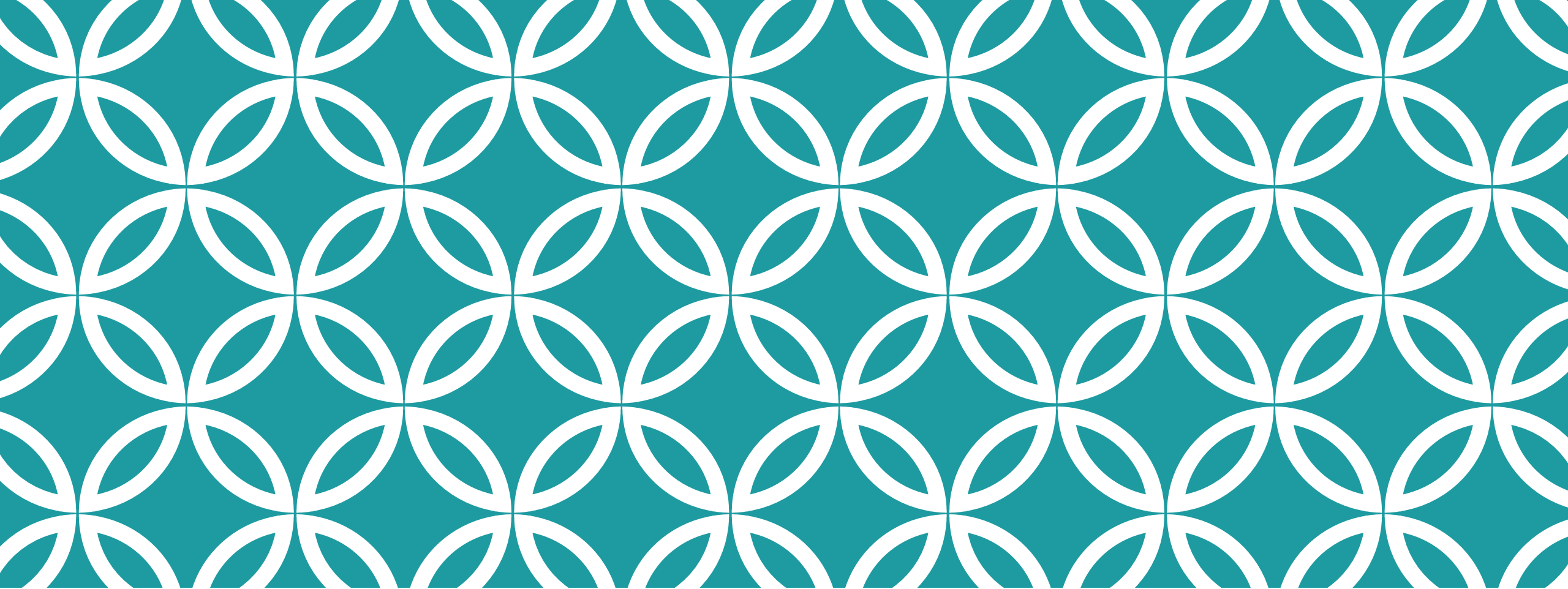
費用の掛からない付帯事業は、摘要に「費用なし」と記載し、0円で計上してください。

付帯事業の数が支援申請書と申請事業予算書それぞれ同じ数になるように記載をお願いします。

【記載例】

(3) 付帯事業【付帯事業名:流木アート】						(円)
費目	No.	摘要	単価	数量	計	費目小計
	1	費用なし(館内で材料を用意)	0	0	0	0
合計【B③】						0

※千円未満切り捨て



IV.申請フォーム記入

申請フォーム項目とページ数について

▶ 本フォームは、全部で23ページあります。

フォーム内ページ数	項目
1ページ	1.申請者
2ページ	2.申請事業
3ページ	3.添付資料
4ページ	4.事業計画
5ページ	5.事業成果物
6ページ	6.広報計画
7～18ページ	7.「海の学び」に関連した事業内容の詳細
19～20ページ	8.本企画展に関連した他の博物館や機関、学校など地域社会との連携について
21～22ページ	9.博物館基本情報
23ページ	10.簡易アンケートご協力をお願い

0. 申請について

申請フォーム

1ページ目

本メールアドレスに申請受領確認メールが届きます。
アドレスをお間違えないよう、ご記入ください。

メールアドレス *

waki.funenokagakukan@gmail.com

申請日 *

ご申請される日付をご記入ください（申請可能期間：2024年11月1日～2024年12月15日まで）

日付

2024/11/15

申請書データ(word)

1枚目

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書
申請日:2024年11月15日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体	
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会
申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区 1-1-1
申請機関の法人格	公益財団法人
1-(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください	
博物館名	海洋博物館
博物館住所	〒000-0000 東京都港区 1-1-1
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会
博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について 同じ	
1-(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。	
① 職名・氏名:部長 海 次郎 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp (専門分野):海洋環境学	② 職名・氏名:課長 船 花子 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野):民俗学
1-(4)指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)	
指定管理者について	あり・なし
指定管理者名	KAIYO 株式会社
契約期間	2024年4月～2028年3月
1-(5)任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)	
設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎

2. 申請事業

事業概要			
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025年4月1日～2025年12月31日		
企画展・付帯事業 開催期間	会期:2025年7月19日～2025年9月21日 ※原則4/1～翌年3/31迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。 実開催日数計:56日間(会期中の休館日等を除く)		
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください			
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率 %
			72.73%

上記項目が1ページに納まるように入力をお願いいたします。

1

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:2024年11月15日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

「申請日」はご提出いただく最新版の日をご記入ください。
「回答の編集」をした場合は、日付の更新をお願いします。

1.申請者

申請フォーム

1ページ目

申請書データ(word)

1枚目

1.申請者

- 1-(1).申請機関・団体
- 1-(2).開催博物館
- 1-(3).担当者
- 1-(4).指定管理者
- 1-(5).任意団体

1-(1).申請機関・団体

申請機関・団体名 *

回答を入力

ページ内最終項目まで

上記の質問で「すでに設置している」「今後設置予定」とお応えいただいた方のみお答えください

任意団体の名称

回答を入力

任意団体代表者の所属・職名・氏名

回答を入力

次へ

1/23 ページ

フォームをクリア

- 1-(1).申請機関・団体
- 1-(2).開催博物館
- 1-(3).担当者
- 1-(4).指定管理者
- 1-(5).任意団体

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書
申請日:20 年 月 日
公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体			
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区 1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1-(2) 開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区 1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について	同じ		
1-(3) 担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
担 当 者	① 職名・氏名: 部長 海 次郎	② 職名・氏名: 課長 船 花子	
	所属: 海洋博物館学芸部	所属: 海洋博物館学芸部	
	TEL: 03-0000-0000	TEL: 03-0000-0000	
	E-mail: jiro@kaiyo.ac.jp (専門分野): 海洋環境学	E-mail: hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野): 民俗学	
1-(4).指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月 ~ 2028 年 3 月
1-(5).任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		

2. 申請事業

事業概要				
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」			
事業期間	2025年4月1日～2025年12月31日 ※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。			
企画展・付帯事業 開催期間	会期: 2025年7月19日～2025年9月21日 実開催日数計: 56 日間(会期中の休館日等を除く)			
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください				
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円	支援率 72.73%
	事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率 %

上記項目が1ページに納まるように入力をお願いいたします。

1

1.申請者

1-(1).申請機関・団体

1-(1).申請機関・団体

申請機関・団体名 *

公益財団法人海洋保全協会

申請機関代表者の職名と氏名 *

職名と氏名の間は全角スペースを入れてください

会長 海 太郎

申請機関の郵便番号と住所 *

郵便番号はハイフンを入れてください
都道府県名からご記入ください

〒000-0000 東京都港区1-1-1

申請機関・団体の法人格 *

公益財団法人

申請フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体

申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		

1-(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください

博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会

申請機関団体と開催博物館との関係について 同じ

1-(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。

① 職名・氏名:館長 前田 次郎 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:jpo@kaiyo.ac.jp (専門分野):海洋環境学	② 職名・氏名:課長 船 花子 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野):民俗学
---	---

1-(4)指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)

指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIO 株式会社	契約期間	2024年4月～2028年3月

1-(5)任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)

設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		

2. 申請事業

事業概要

事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025年4月1日～2025年12月31日 ※原則4/1～翌年3/31迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。		
企画展・付帯事業 開催期間	会期:2025年7月19日～2025年9月21日 実開催日数計:56日間(会期中の休館日等を除く)		

事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください

申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円	支援率	72.73%
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率	%	

上記項目が1ページに納まるように入力をお願いいたします。

1

1-(1)申請機関団体

申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		

1.申請者

1-(2).開催博物館

1-(2).開催博物館

※申請機関団体と同じ場合もご記入ください

博物館名 *

海洋博物館

博物館住所 *

郵便番号はハイフンを入れてください
都道府県名からご記入ください

〒000-0000 東京都港区1-1-1

博物館の設置者 *

公益財団法人海洋保全協会

博物館の運営者 *

公益財団法人海洋保全協会

申請機関団体と開催博物館の関係について

※申請機関団体と開催博物館が異なる場合にご記入ください

回答を入力

申請フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体	
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会
申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1
申請機関の法人格	公益財団法人

1-(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください

博物館名	海洋博物館
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会
博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会

申請機関団体と開催博物館との関係について 同じ

1-(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いします。

① 職名・氏名:館長 海 次郎	② 職名・氏名:群長 船 花子
所属:海洋博物館学芸部	所属:海洋博物館学芸部
TEL:03-0000-0000	TEL:03-0000-0000
E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp	E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp
(専門分野):海洋環境学	(専門分野):民俗学

1-(4)指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)

指定管理者について	あり・なし
指定管理者名	KAIO 株式会社
契約期間	2024年4月～2028年3月

1-(5)任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)

設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎

2. 申請事業

事業概要	
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」
事業期間	2025年4月1日～2025年12月31日
企画展・付帯事業 開催期間	会期:2025年7月19日～2025年9月21日 実開催日数計:56日間(会期中の休館日等を除く)

事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください

申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円	支援率	72.73%
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率	%	

1-(2).開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください

博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について	同じ		

申請機関団体と開催博物館の施設所有者が異なる場合は、「覚書」が必要となります。(p.10参照)

1.申請者

1-(3).担当者

申請フォーム

申請書データ(word)

1-(3).担当者

2名体制でご登録をお願いしております。（担当者①と②をそれぞれご記入ください）

担当者①

担当者① 職名と氏名 *

職名と氏名の間は全角スペースを入れてください

部長 海 次郎

担当者① 所属施設名と部署 *

所属施設名と部署名の間は全角スペースを入れてください

海洋博物館学芸部

担当者① 電話番号 *

半角数字 ハイフンを入れてください

03-0000-0000

担当者① E-mail *

jiro@kaiyo.ac.jp

担当者① 専門分野 *

海洋環境学

担当者②

担当者② 職名と氏名 *

職名と氏名の間は全角スペースを入れてください

課長 船 花子

担当者② 所属施設名と部署 *

所属施設名と部署名の間は全角スペースを入れてください

海洋博物館学芸部

担当者② 電話番号 *

半角数字 ハイフンを入れてください

03-0000-0000

担当者② E-mail *

hanako@kaiyo.ac.jp

担当者② 専門分野 *

民俗学

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体			
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1-(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について 同一			
1-(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
① 職名・氏名:部長 海 次郎 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp (専門分野):海洋環境学	② 職名・氏名:課長 船 花子 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野):民俗学		
1-(4).指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIYO株式会社	契約期間	2024年4月～2028年3月
1-(5).任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		

2. 申請事業

事業概要			
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025年4月1日～2025年12月31日 ※原則4/1～翌年3/31迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。		
企画展・付帯事業 開催期間	会期:2025年7月19日～2025年9月21日 ※開催日数計:56日間(会期中の休館日等を除く)		
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください			
申請事業の事業費総額	5,500,000円	支援申請金額	4,000,000円
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率 %

上記項目が1ページに納まるように入力をお願いいたします。

1

1-(3).担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。

担 当 者	① 職名・氏名:部長 海 次郎 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp (専門分野):海洋環境学	② 職名・氏名:課長 船 花子 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野):民俗学
-------------	---	---

1.申請者

1-(4).指定管理者

1-(4).指定管理者

開催博物館の指定管理者の有無*

運営が指定管理者に委託されている場合（予定も含みます）

☒ あり

☐ なし

上記の質問で「あり」とお答えいただいた方のみお答えください

指定管理者名

KAIYO株式会社

契約期間

2024年4月～2028年3月

申請フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日: 20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体			
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区 1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1-(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区 1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について	同じ		
1-(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
① 職名・氏名: 部長 海 次郎	② 職名・氏名: 課長 船 花子		
所属: 海洋博物館学芸部	所属: 海洋博物館学芸部		
TEL: 03-0000-0000	TEL: 03-0000-0000		
E-mail: jiro@kaiyo.ac.jp	E-mail: hanako@kaiyo.ac.jp		
(専門分野): 海洋環境学	(専門分野): 民俗学		
1-(4).指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月～2028 年 3 月
1-(5).任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		
2. 申請事業			
事業概要			
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日		
企画展・付帯事業	※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。		
開催期間	会期: 2025 年 7 月 19 日～2025 年 9 月 21 日		
	※開催日数計: 56 日間(会期中の休館日等を除く)		
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください			
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率 %
上記項目が 1 ページに納まるように入力をお願いいたします。			

1-(4).指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)

指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月～2028 年 3 月

運営を指定管理者に委託されている場合は、「指定管理者契約等の契約書の写し」の添付をお願いします。(p.10参照)

1.申請者

1-(5).任意団体

1-(5).任意団体

任意団体の設置状況 *

申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について（予定も含みます）

- ☒ すでに設置している
- ☐ 今後設置予定
- ☐ 設置しない
- ☐ 未定

上記の質問で「すでに設置している」「今後設置予定」とお答えいただいた方のお答えください

任意団体の名称

企画展「海が汚れている」実行委員会

任意団体代表者の所属・職名・氏名

会長 海 太郎

申請フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体			
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1-(2) 開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について	同じ		
1-(3) 担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
① 職名・氏名:部長 海 次郎	② 職名・氏名:課長 船 花子		
所属:海洋博物館学芸部	所属:海洋博物館学芸部		
TEL:03-0000-0000	TEL:03-0000-0000		
E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp	E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp		
(専門分野):海洋環境学	(専門分野):民俗学		
1-(4).指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり ・ なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月～2028 年 3 月
1-(5).任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している ・ 今後設置予定 ・ 設置しない ・ 未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		
2. 申請事業			
事業概要			
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日		
企画展・付帯事業 開催期間	※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。 会期:2025 年 7 月 19 日～2025 年 9 月 21 日 ※開催日数計:56 日間(会期中の休館日等を除く)		
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください			
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率 %
上記項目が1ページに納まるように入力をお願いいたします。			

1-(5).任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)

設置状況	既に設置している ・ 今後設置予定 ・ 設置しない ・ 未定
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎

実行委員会等の任意団体が申請者の場合は、「④申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績などの写し」の添付をお願いします。(p.10参照)

2.申請事業

2. 申請事業

事業概要

事業予算

事業期間

事業期間 (開始)

事業期間 (終了)

実施期間

実施期間 (開始)

実施期間 (終了)

実施曜日数

申請事業の予算について

申請事業の事業費総額

支援申請金額

支援率

2023 ページ

申請フォーム

2ページ目

申請書データ(word)

1枚目

- 事業概要
- 事業予算

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

申請機関団体

申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について	同じ		
1(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
担 当 者	① 職名・氏名:部長 海 次郎 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp (専門分野):海洋環境学	② 職名・氏名:課長 船 花子 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野):民俗学	
1-(4).指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり ・ なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月～2028 年 3 月
1-(5).任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している ・ 今後設置予定 ・ 設置しない ・ 未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		

2. 申請事業

事業概要

事業予算

事業名 (企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日 ※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。		
企画展・付帯事業 開催期間	会期: 2025 年 7 月 19 日～2025 年 9 月 21 日 実開催日数計: 56 日間 (会期中の休館日等を除く)		
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください			
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円
支援率	72.73%	支援率	72.73%
事務局記入欄	査定後支援金額	円	査定後支援率 %

上記項目が 1 ページに納まるように入力をお願いします。

2.申請事業

事業概要

申請フォーム

申請書データ(word)

・事業概要

事業名*

企画展・特別展名を記入してください

企画展「海が汚れている」

事業期間

※原則2025/4/1～2026/3/31迄。事前着手・延長の必要がある場合は別途ご相談ください

事業期間（開始）*

日付

2025/04/01

事業期間（終了）*

日付

2025/12/31

実施期間

※原則

2025/4/1～2026/3/31迄。事前着手・延長の必要がある場合は別途ご相談ください

実施期間（開始）*

日付

2025/07/19

実施期間（終了）*

日付

2025/09/21

実開催日数*

実開催日数を記入してください（数字のみ）※会期中の休館日等を除きます

56

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1 (1)申請機関団体			
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1 (2) 開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について	同じ		
1 (3) 担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
担 当 者	① 職名・氏名:部長 海 次郎 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp (専門分野):海洋環境学	② 職名・氏名:課長 船 花子 所属:海洋博物館学芸部 TEL:03-0000-0000 E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp (専門分野):民俗学	
1 (4) 指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月～2028 年 3 月
1 (5) 任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		

2. 由緒事業

事業概要					
事業名（企画展・特別展名）	企画展「海が汚れている」				
事業期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日 ※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。				
企画展・付帯事業 開催期間	会期: 2025 年 7 月 19 日～2025 年 9 月 21 日 実開催日数計: 56 日間 (会期中の休館日等を除く)				
事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください					
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円	支援率	72.73%
事務局部 関係	査定後支援金額	円	査定後支援率	%	

上記項目が1 ページに納まるように入力をお願いいたします。

1

2. 申請事業

事業概要

事業名（企画展・特別展名）	企画展「海が汚れている」
事業期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日 ※原則 4/1～翌年 3/31 迄。事前着手・延長の必要がある場合は要相談。
企画展・付帯事業 開催期間	会期: 2025 年 7 月 19 日～2025 年 9 月 21 日 実開催日数計: 56 日間 (会期中の休館日等を除く)

2.申請事業

事業予算

申請フォーム

・申請事業の予算について
「申請事業予算書」から転記してください

申請事業の事業費総額 *
(単位円)

5500000

支援申請金額 *
(単位円)

4000000

支援率 *
小数点第二位まで記入してください (単位%)

72.73

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

申請日:20 年 月 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館
会長 前田 晃 殿

1. 申請者

1-(1)申請機関団体			
申請機関・団体名	公益財団法人海洋保全協会	申請機関代表者 職名・氏名	会長 海 太郎 印
申請機関の住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
申請機関の法人格	公益財団法人		
1-(2)開催博物館 ※申請機関団体と同じ場合もご記入ください			
博物館名	海洋博物館		
博物館住所	〒000-0000 東京都港区1-1-1		
博物館の設置者	公益財団法人海洋保全協会	博物館の運営者	公益財団法人海洋保全協会
申請機関団体と開催博物館との関係について 同じ			
1-(3)担当者 ※2名体制でご登録をお願いしております。			
① 職名・氏名:部長 海 次郎	② 職名・氏名:課長 船 花子		
所属:海洋博物館学芸部	所属:海洋博物館学芸部		
TEL:03-0000-0000	TEL:03-0000-0000		
E-mail:jiro@kaiyo.ac.jp	E-mail:hanako@kaiyo.ac.jp		
(専門分野):海洋環境学	(専門分野):民俗学		
1-(4)指定管理者 ※運営が指定管理者に委託されている場合(予定も含む)			
指定管理者について	あり・なし		
指定管理者名	KAIYO 株式会社	契約期間	2024 年 4 月～2028 年 3 月
1-(5)任意団体 ※申請事業における実行委員会等の任意団体の設置について(予定も含みます)			
設置状況	既に設置している・今後設置予定・設置しない・未定		
任意団体の名称	企画展「海が汚れている」実行委員会		
代表者所属・職名・氏名	会長 海 太郎		

2. 申請事業

事業概要			
事業名(企画展・特別展名)	企画展「海が汚れている」		
事業期間	2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日		
企画展・付帯事業 開催期間	会期:2025 年 7 月 19 日～2025 年 9 月 21 日		
	夜間開館日数:5日(会期中の休館日数を除く)		

事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください			
申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円
		支援率	72.73%

上記項目が1ページに納まるように入力をお願いいたします。

事業予算 ※別紙「申請事業予算書」より記載してください

申請事業の事業費総額	5,500,000 円	支援申請金額	4,000,000 円	支援率	72.73%
------------	-------------	--------	-------------	-----	--------

「申請事業予算書」内

3. 申請事業予算の内訳

項 目	金額(円)
申請事業の事業費総額:【A】+【C】	5,500,000
支援申請金額(事業費総額【A】+【C】の 上限80%) ※ 万単位	4,000,000
自己負担額	1,500,000
支援率(上限80%)	72.73%

※支援率は少数第三位以下を繰り上げて、少数第二位まで表示すること。

3. 添付資料

3.必要添付書類

ファイルをアップロードする場合、Googleアカウントが必要です。
Googleアカウントをお持ちでない場合、現在使用中のe-mailアドレスに登録は以下のURLから設定してください。
<https://accounts.google.com/SignUp?service=writely>

添付資料のアップロード

添付資料は、「申請事業予算書」を除き、できる限りPDFデータでお願いいたします。

ファイルの末尾に博物館名を記載してください。

添付書類は1フォルダにまとめ「ZIPファイル」に圧縮してからアップロードをお願いいたします。

フォルダ名は「2025年度プログラム1 添付資料 ○○博物館」としてください。

サポートされているファイルを1 個アップロードします。最大ファイルサイズは1 GB です。

添付書類の確認

☒ ①申請事業予算書※Excelデータ

☒ ②開催館のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料

☐ ③申請事業に関する補足資料（別途資料がある場合）

☐ ④申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績など（実行委員会等の任意団体が申請者の場合）

☐ ⑤指定管理者契約等の契約書の写し（指定管理者がある場合）

☐ ⑥覚書（開催博物館との直接的な関係性の無い団体）※要押印

戻る

次へ

3/23 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

申請フォーム

3ページ目

申請書データ(word)

2枚目

添付書類の詳細については、「添付書類について(p.10)」をご確認ください

添付した書類にチェックをお願いします

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

3. 必要添付書類

① 申請事業予算書

② 開催館のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料

③ 申請事業に関する補足資料(別途資料がある場合)

④ 申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績など(実行委員会等の任意団体が申請者の場合)

⑤ 指定管理者契約等の契約書の写し(指定管理者がある場合)

⑥ 覚書(申請機関団体と開催博物館が同一でない場合)

4. 事業計画

■「海の学び」活動としての開催趣旨・目的【400 文字程度】

近年、「マイクロプラスチック」という言葉を中心に海のプラスチックゴミが問題になっており、海の生態系への影響が深刻化しています。海洋環境の保全に向けて世界的にも、国としても、プラスチックのゴミを減らす取り組みが行われており、個人での対策も求められている。
メディア等で取り上げられる話題も多い一方で、海の海洋ごみ問題は複雑化しており、生き物や環境への影響とこれからの人間生活について、総合的な視点を持って考えていく必要がある。
そこで、本企画展では、最新の海ごみ問題について最新の研究成果を展示パネルや映像資料でまとめるとともに、海洋プラスチックゴミをテーマに体験的な学習を通して、来館者の海の環境問題について理解を深め、これからの私たちの暮らしや海とのつながりについて学ぶ機会とすることを目的に開催する。

■「海の学び」活動としての特色や期待される成果【600 文字程度】

我々日本人は、暮らしの中で様々な海の恩恵を受けているが一方で、メディア等で海の環境問題が喫緊の課題として取り上げられ、環境問題を意識する機会は増えている。環境問題は複雑化しており、解決に向けてまず各課題について整理する必要がある。
本企画展では、海のプラスチックごみ問題となっているプラスチックとは何か、身近にあるプラスチック製品とその利便性と必要性について展示にまとめ、プラスチックがなくてはならない生活になっていること、プラスチックがあることが多様な暮らしを支えていることを理解する。
さらに、最新映像を通じて海の中にある海ごみのリアルについて知ること、プラスチックがなぜ問題なのかを改めて理解を促す。海ごみを防ぐための方法をいくつか紹介し、「なぜ」リサイクルが必要なのか、「リサイクル」では何が行われているかを紹介し、正しいリサイクルについて解説を行うことで、より海を守る意識を醸成する。
これらを通じて、「海」を守ることの大切さを含め、海に関するリテラシーの向上を計る。

開催に関する 基本情報

開催場所（博物館名）	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入。
展示会場の面積（㎡）	海洋博物館 3階 企画展示室/300 ㎡
目標入場者数	① 企画展 10,000 人、②付帯事業 1,000 人【合計 11,000 人】
※参考：申請会期の前年度入場者数	10,000 人
共催・後援・協力者名称等	共催:海洋研究所、後援:教育委員会

2

37

4.事業計画

申請フォーム

4ページ目

申請書データ(word)

2ページ目

■「海の学び」活動としての開催趣旨・目的

■「海の学び」活動としての特色 や期待される成果

■ 開催に関する基本情報

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

必要添付書類

申請事業予算書

開催館のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料

申請事業に関する補足資料(別途資料がある場合)

申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績など(実行委員会等の任意団体が申請者の場合)

指定管理者契約等の契約書の写し(指定管理者がある場合)

覚書(申請機関団体と開催博物館が同一でない場合)

4. 事業計画

■「海の学び」活動としての開催趣旨・目的【400文字程度】

近年、「マイクロプラスチック」という言葉を中心に海のプラスチックゴミが問題になっており、海の生態系への影響が深刻化しています。海洋環境の保全に向けて世界的にも、国としても、プラスチックのゴミを減らす取り組みが行われており、個人での対策も求められています。

メディア等で取り上げられる話題も多い一方で、海のプラスチックゴミ問題は複雑化しており、生き物や環境への影響とこれからの人間生活について、総合的な視点を持って考えていく必要がある。

そこで、本企画展では、最新のごみ問題について最新の研究成果を展示パネルや映像資料でまとめるとともに、海洋プラスチックゴミをテーマに体験的な学習を通して、来館者の海の問題について理解を深め、これからの私たちの暮らしや海とのつながりについて学ぶ機会とすることを目的に開催する。

■「海の学び」活動としての特色や期待される成果【600文字程度】

我々日本人は、暮らしの中で様々な海の恩恵を受けているが一方で、メディア等で海の問題が喫緊の課題として取り上げられ、環境問題を意識する機会は増えている。環境問題は複雑化しており、解決に向けてまず各課題について整理する必要がある。

本企画展では、海のプラスチックごみ問題となっているプラスチックとは何か、身近にあるプラスチック製品とその利便性と必要性について展示にまとめ、プラスチックがなくてはならない生活になっていること、プラスチックがあることが多様な暮らしを支えていることを理解する。

さらに、最新映像を通して海の中にある海ごみのリアルについて知ること、プラスチックがなぜ問題なのかを改めて理解を促す。海ごみを防ぐための方法をいくつか紹介し、「なぜ」リサイクルが必要なのか、「リサイクル」では何が行われているかを紹介し、正しいリサイクルについて解説を行うことで、より海を守る意識を醸成する。

開催に関する基本情報

開催場所（博物館名）	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所との会期も記入。
展示会場の面積（㎡）	海洋博物館 3階 企画展示室／300㎡
目標入場者数	① 企画展 10,000人、②付帯事業 1,000人【合計 11,000人】
※参考：申請会期の前年度入場者数	10,000人
共催・後援・協力者名称等	共催：海洋研究所、後援：教育委員会

4.事業計画

4.事業計画

「海の学び」活動としての開催趣旨・目的*

400文字以内で記入してください

近年、「マイクロプラスチック」という言葉を中心に海のプラスチックゴミが問題になっており、海の生態系への影響が深刻化しています。海洋環境の保全に向けて世界的にも、国としても、プラスチックのごみを減らす取り組みが行われており、個人での対策も求められている。

メディア等で取り上げられる話題も多い一方で、海の海洋ごみ問題は複雑化しており、生き物や環境への影響とこれからの人間生活について、総合的な視点を持って考えていく必要がある。

そこで、本企画展では、最新の海ごみ問題について最新の研究成果を展示パネルや映像資料でまとめるとともに、海洋プラスチックゴミをテーマに体験的な学習を通して、来館者の海の環境問題について理解を深め、これからの私たちの暮らしや海とのつながりについて学ぶ機会とすることを目的に開催する。

「海の学び」活動としての特色や期待される成果*

600文字以内で記入してください

我々日本人は、暮らしの中で様々な海の恩恵を受けているが一方で、メディア等で海の環境問題が喫緊の課題として取り上げられ、環境問題を意識する機会は増えている。環境問題は複雑化しており、解決に向けてまず各課題について整理する必要がある。

本企画展では、海のプラスチックごみ問題となっているプラスチックとは何か、身近にあるプラスチック製品とその利便性と必要性について展示にまとめ、プラスチックがなくてはならない生活になっていること、プラスチックがあることが多様な暮らしを支えていることを理解する。

さらに、最新映像を通じて海の中にある海ごみのリアルについて知ること、プラスチックがなぜ問題なのかを改めて理解を促す。海ごみを防ぐための方法をいくつか紹介し、「なぜ」リサイクルが必要なのか、「リサイクル」では何が行われているかを紹介し、正しいリサイクルについて解説を行うことで、より海を守る意識を醸成する。

これらを通じて、「海」を守ることの大切さを含め、海に関するリテラシーの向上を計る。

申請フォーム

申請書データ(word)

制限文字数をオーバーするとエラーが出ます。
指定している文字数に納まるようにご記入ください

- 船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書
3. 必要添付書類
- ① 申請事業予算書
 - ② 開催館のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料
 - ③ 申請事業に関する補足資料(別途資料がある場合)
 - ④ 申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績など(実行委員会等の任意団体が申請者の場合)
 - ⑤ 指定管理者契約等の契約書の写し(指定管理者がある場合)
 - ⑥ 覚書(申請機関団体と開催博物館が同一でない場合)

4.事業計画

■「海の学び」活動としての開催趣旨・目的【400文字程度】

近年、「マイクロプラスチック」という言葉を中心に海のプラスチックゴミが問題になっており、海の生態系への影響が深刻化しています。海洋環境の保全に向けて世界的にも、国としても、プラスチックのごみを減らす取り組みが行われており、個人での対策も求められている。

メディア等で取り上げられる話題も多い一方で、海の海洋ごみ問題は複雑化しており、生き物や環境への影響とこれからの人間生活について、総合的な視点を持って考えていく必要がある。

そこで、本企画展では、最新の海ごみ問題について最新の研究成果を展示パネルや映像資料でまとめるとともに、海洋プラスチックゴミをテーマに体験的な学習を通して、来館者の海の環境問題について理解を深め、これからの私たちの暮らしや海とのつながりについて学ぶ機会とすることを目的に開催する。

■「海の学び」活動としての特色や期待される成果【600文字程度】

我々日本人は、暮らしの中で様々な海の恩恵を受けているが一方で、メディア等で海の環境問題が喫緊の課題として取り上げられ、環境問題を意識する機会は増えている。環境問題は複雑化しており、解決に向けてまず各課題について整理する必要がある。

本企画展では、海のプラスチックごみ問題となっているプラスチックとは何か、身近にあるプラスチック製品とその利便性と必要性について展示にまとめ、プラスチックがなくてはならない生活になっていること、プラスチックがあることが多様な暮らしを支えていることを理解する。

さらに、最新映像を通じて海の中にある海ごみのリアルについて知ること、プラスチックがなぜ問題なのかを改めて理解を促す。海ごみを防ぐための方法をいくつか紹介し、「なぜ」リサイクルが必要なのか、「リサイクル」では何が行われているかを紹介し、正しいリサイクルについて解説を行うことで、より海を守る意識を醸成する。

これらを通じて、「海」を守ることの大切さを含め、海に関するリテラシーの向上を計る。

開催に関する基本情報	
開催場所(博物館名)	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入。
展示会場の面積(m ²)	海洋博物館 3階 企画展示室/300 m ²
目標入場者数	① 企画展 10,000人、②付帯事業 1,000人【合計 11,000人】
※参考: 申請会期の前年度入場者数	10,000人
共催・後援・協力者名称等	共催:海洋研究所、後援:教育委員会

4.事業計画

開催に関する基本情報

申請フォーム

申請書データ(word)

「目標入場者数」の「付帯事業」の人数は、この後のページ内の「各付帯事業の参加人数」の合計と同じになるように、確認をお願いいたします。

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

3. 必要添付書類
- ① 申請事業予算書
 - ② 開催地のリーフレットや行事予定表等、館の概要・活動状況等の分かる資料
 - ③ 申請事業に関する補足資料(別途資料がある場合)
 - ④ 申請者の組織表、内部規約、過去の助成実績など(実行委員会等の任意団体は申請者の場合)
 - ⑤ 指定管理者契約等の契約書の写し(指定管理者がある場合)
 - ⑥ 覚書(申請機関団体と開催博物館が同一でない場合)

4. 事業計画

■「海の学び」活動としての開催趣旨・目的【400文字程度】

近年、「マイクロプラスチック」という言葉を中心に海のプラスチックゴミが問題になっており、海の生態系への影響が深刻化しています。海洋環境の保全に向けて世界的にも、国としても、プラスチックのゴミを減らす取り組みが行われており、個人での対策も求められています。メディア等で取り上げられる話題も多い一方で、海の海洋ごみ問題は複雑化しており、生き物や環境への影響とこれからの人間生活について、総合的な視点を持って考えていく必要がある。そこで、本企画展では、最新の海ごみ問題について最新の研究成果を展示パネルや映像資料でまとめるとともに、海洋プラスチックゴミをテーマに体験的な学習を通して、来館者の海の環境問題について理解を深め、これからの私たちの暮らしや海とのつながりについて学ぶ機会とすることを目的に開催する。

■「海の学び」活動としての特色や期待される成果【600文字程度】

我々日本人は、暮らしの中で様々な海の恩恵を受けているが一方で、メディア等で海の環境問題が喫緊の課題として取り上げられ、環境問題を意識する機会は増えている。環境問題は複雑化しており、解決に向けてまず各課題について整理する必要がある。本企画展では、海のプラスチックごみ問題となっているプラスチックとは何か、身近にあるプラスチック製品とその利便性と必要性について展示にまとめ、プラスチックがなくてはならない生活になっていること、プラスチックがあることが多様な暮らしを支えていることを理解する。さらに、最新映像を通じて海の中にある海ごみのリアルについて知ること、プラスチックがなぜ問題なのかを改めて理解を促す、海ごみを防ぐための方法をいくつか紹介し、「なぜ」リサイクルが必要なのか、「リサイクル」では何が行われているかを紹介し、正しいリサイクルについて解説を行うことで、より海を守る意識を醸成する。これらを通じて、「海」を守ることの大切さを含め、海に関するリテラシーの向上を計る。

開催に関する基本情報	
開催場所(博物館名)	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入。
展示会場の面積(㎡)	海洋博物館 3階 企画展示室/300㎡
目標入場者数	① 企画展10,000人、②付帯事業1,000人【合計11,000人】
※参考:申請会期の前年度入場者数	10,000人
共催・後援・協力者名称等	共催:海洋研究所、後援:教育委員会

開催に関する基本情報

開催場所(博物館名)	海洋博物館 ※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入。
展示会場の面積(㎡)	海洋博物館 3階 企画展示室/300㎡
目標入場者数	① 企画展10,000人、②付帯事業1,000人【合計11,000人】
※参考:申請会期の前年度入場者数	10,000人
共催・後援・協力者名称等	共催:海洋研究所、後援:教育委員会

・開催に関する基本情報

開催場所*

※巡回や複数館での開催となる場合、場所ごとの会期も記入してください

海洋博物館

展示会場の面積*

展示会場名称と面積をご記入ください(単位:㎡)

海洋博物館 3階 企画展示室/300㎡

目標入場者数

目標入場者数(企画展)【A】*

(数字のみ・単位:人)

10000

目標入場者数(全ての付帯事業の合計人数)【B】*

(数字のみ・単位:人)

1000

目標入場者の合計数【A】+【B】*

企画展【A】と付帯事業【B】の合計人数を記入してください(数字のみ・単位:人)

11000

参考:申請会期前年度の入場者数*

(数字のみ・単位:人)

10000

共催・後援・協力者名称等*

共催:海洋研究所、後援:教育委員会

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは公益財団法人日本海軍科学館開館100周年記念事業で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

5.事業成果物

5 事業成果物

5-(1)印刷物件

5-(2)制作物件

5-(1)印刷物件
制作の印刷物をすべて記入してください
例)企画展ポスター(20000部)・図録(100部)

印刷物件①

企画展ポスター/B1片面カラー/1000部

印刷物件②

企画展チラシ/A4両面カラー/20000部

印刷物件③

展示解説書/A3判二つ折りカラー/5000部

印刷物件④

図録/A4両色刷/50部

印刷物件⑤

展示ガイドブック/A4両色刷/100部

印刷物件が5件以上の場合は、こちらに追加内容を箇条書きで記入してください
例)印刷物件⑥～
印刷物件⑦～

印刷件入力

5-(2)制作物件

展示資料や看板等の品名を記入してください
例)館内用看板(ターボリン)

制作物件①

制作看板

制作物件②

エントランスパナーなどの看板

制作物件③

展示動物のゲル封入標本10点

制作物件④

展示動物の骨格標本20点

制作物件⑤

地域/海を紹介する動画1点

制作物件が5件以上の場合は、こちらに追加内容を箇条書きで記入してください
例)制作物件⑥～
制作物件⑦～

制作物件入力

戻る

次へ

5/23 ページ

Google フォーム

申請フォーム

5ページ目

申請書データ(word)

3枚目

5-(1)印刷物件
5-(2)制作物件

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。
別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。

5-(1)印刷物件 (製作物/サイズ/枚数)
例) 企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚
①ポスター B2判 100 枚
② チラシ A4判 20000 枚
③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部
④ 出展作品図録 A4判 4 色刷 50 項 1000 部
⑤講座「テキスト」A4判 100 部

5-(2)制作物件 (展示資料、看板等 製作物件)
例) 館内用看板 (ターボリン)
①屋外用看板
②地域の海を紹介する動画 3 点
③エントランスパナーなどの看板
④海生動物のゲル封入標本 10 点
⑤鯨骨魚類の骨格標本 20 点

6. 広報計画

6-(1).申請事業の広報方法

☒リリースで公開する

☒HPで公開する

☒SNSで公開する

☒ポスター・チラシで公開する

☒広報誌・会報誌等で公開する

☒新聞・CM 等で公開する

□その他 ()

配布物、掲出媒体等(予定含む)

6-(2).配布物

例)企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校
①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校
②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公民館
③
④
⑤

6-(3).掲出媒体<掲出媒体>
※WEB、看板等
①HP や SNS による情報発信
②当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出
③Youtube での動画配信
④ 地域の無料広報誌
⑤

7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細
(「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

①

展示テーマ・内容
【内容:200 字程度】

- 名 称:第一章 海が泣いている
- 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像
- 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。

5.事業成果物

5－(1)印刷物件

5.事業成果物
5-(1).印刷物件 5-(2).制作物件 本事業を通じて製作予定のもの。 別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください
5-(1).印刷物件 物件の詳細をまとめて記入してください 例) 企画展ポスター/B1片面カラー/1,000枚
印刷物件① 企画展ポスター/B2判片面カラー/100枚
印刷物件② 企画展チラシ/A4判両面カラー/20000枚
印刷物件③ 展示解説書/A3判二つ折りカラー/5000部
印刷物件④ 図録/A4判4色刷50項/1000部
印刷物件⑤ 講座テキスト/A4判モノクロ/100部
印刷物が5件以上の場合は、こちらに追加部分を箇条書きで記入してください 例) 印刷物件⑥～ 印刷物件⑦～
回答を入力

申請フォーム

申請書データ(word)

別紙「申請事業予算書」と比較できるように、記載内容は同じ名称で記載をお願いいたします。

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書		
5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。 別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。		
5-(1).印刷物件（製作物/サイズ/枚数） 例) 企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚 ①ポスター B2判 100 枚 ② チラシ A4判 20000 枚 ③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部 ④ 出展作品図録 A4判 4色刷 50 項 1000 部 ⑤講座「テキスト」A4判 100 部	5-(2).制作物件（展示資料、看板等 製作物件） 例) 館内用看板（ターボリン） ①屋外看板 ②地域の海を紹介する動画 3 点 ③エントランスバナーなどの看板 ④海生動物のグル封入標本 10 点 ⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点	
6. 広報計画		
6-(1).申請事業の広報方法		
☒ リリースで公開する ☒ HPで公開する ☒ SNS で公開する	☒ ポスター・チラシで公開する ☒ 広報誌・会報誌等で公開する ☒ 新聞・CM 等で公開する	☐ その他（ ）
配布物、提出媒体等（予定含む）		
6-(2).配布物 例) 企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校 ① 企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校 ② 企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公民館 ③ ④ ⑤	6-(3).提出媒体＜提出媒体＞ ※WEB、看板等 ①HP や SNS による情報発信 ②当館発行の雑誌や館内掲示等による提出 ③Youtube での動画配信 ④ 地域の無料広報誌 ⑤	
7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細		
7-(1).展示について 展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細 （「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）		
① 展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が込んでいる ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。	

5-(1).印刷物件（製作物/サイズ/枚数）
例) 企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚
①ポスター B2判 100 枚
② チラシ A4判 20000 枚
③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部
④ 出展作品図録 A4判 4色刷 50 項 1000 部
⑤講座「テキスト」A4判 100 部

5.事業成果物

5－(2)製作物件

申請フォーム

申請書データ(word)

別紙「申請事業予算書」と比較できるように、記載内容は同じ名称で記載をお願いいたします。

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム 1 「海の企画展サポート」 支援申請書

5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。
別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。

5-(1).印刷物件（製作物/サイズ/枚数） 例) 企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚 ①ポスター B2判 100 枚 ② チラシ A4 判 30000 枚 ③ 展示解説書 A3 判 二つ折り 5000 部 ④ 出展作品図録 A4 判 4 色刷 50 項 1000 部 ⑤講座「テキスト」A4 判 100 部	5-(2).制作物件（展示資料、看板等 製作物件） 例) 館内用看板（ターボリン） ①屋外看板 ②地域の海を紹介する動画 3 点 ③エントランスバナーなどの看板 ④海生動物のゲル封入標本 10 点 ⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点
--	---

6. 広報計画

6-(1).申請事業の広報方法

☒ リリースで公開する	☒ ポスター・チラシで公開する	☐ その他()
☒ HP で公開する	☒ 広報誌・会報誌等で公開する	
☒ SNS で公開する	☒ 新聞・CM 等で公開する	

配布物、掲出媒体等(予定含む)

6-(2).配布物 例) 企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校 ①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校 ②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公民館 ③ ④ ⑤	6-(3).掲出媒体<掲出媒体> ※WEB、看板等 ①HP や SNS による情報発信 ②当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出 ③Youtube での動画配信 ④ 地域の無料広報誌 ⑤
--	--

7. 海の学びに関連した事業内容の詳細

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細
 (「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

①	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が込んでいる ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
---	--------------------------	--

5-(2).制作物件（展示資料、看板等 製作物件）

例) 館内用看板（ターボリン）

- ①屋外看板
- ②地域の海を紹介する動画 3 点
- ③エントランスバナーなどの看板
- ④海生動物のゲル封入標本 10 点
- ⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点

6.広報計画

6.広報計画

6-(1)申請事業の広報方法

6-(2)配布物

6-(3)掲出媒体

6-(1)申請事業の広報方法

本企画展に関連した広報について該当するものにチェックを施してください（予定を含む）

事業の広報方法

☒ リリースで公開する

☒ HPで公開する

☒ ポスター・チラシで公開する

☒ 広報誌・会報誌等で公開する

☐ 新聞・CM等で公開する

☐ その他

6-(2)配布物

配布物・数量・配布先等の詳細をまとめて記入してください

例）企画展チラシ（1,000枚）市内の小学校

配布物 ①

企画展チラシ（2000枚）/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校

配布物 ②

企画展ポスター（100枚）/地域自治体、図書館、公民館

配布物 ③

回答を入力

配布物 ④

回答を入力

配布物 ⑤

回答を入力

6-(3)掲出媒体

媒体・数量等の詳細をまとめて記入してください

掲出媒体 ①

HPやSNSによる情報発信

掲出媒体 ②

当該発行の雑誌や館内掲示等による掲出

掲出媒体 ③

Youtubeでの動画配信

掲出媒体 ④

地域・無料広報誌

掲出媒体 ⑤

回答を入力

戻る

次へ

6/23 ページ

Google フォームは、Google のサービスと連携しています。

このフォームは、公開された Google フォームのテンプレートに基づいて作成されています。このテンプレートの詳細については、Google フォームのヘルプをご覧ください。

Google フォーム

申請フォーム

6ページ目

申請書データ(word)

3枚目

6-(1)申請事業の広報方法
6-(2)配布物
6-(3)掲出媒体

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書	
5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。	
別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。	
5-(1).印刷物（製作物/サイズ/枚数） 例）企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚 ①ポスター B2判 100 枚 ② チラシ A4判 20000 枚 ③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部 ④ 出展作品図録 A4判 4色刷 50 項 1000 部 ⑤講座「テキスト」A4判 100 部	5-(2).制作物（展示資料、看板等 製作物件） 例）館内用看板（ターボリン） ①屋外看板 ②地域の海を紹介する動画 3 点 ③エントランスバナーなどの看板 ④海生動物のグル封入標本 10 点 ⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点

6. 広報計画

6-(1).申請事業の広報方法

☒ リリースで公開する

☒ ポスター・チラシで公開する

☐ その他（ ）

☒ HP で公開する

☒ 広報誌・会報誌等で公開する

☒ SNS で公開する

☒ 新聞・CM 等で公開する

配布物、掲出媒体等（予定含む）

6-(2).配布物

例）企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校

①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校

②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公民館

③

④

⑤

6-(3).掲出媒体＜掲出媒体＞

※WEB、看板等

①HP や SNS による情報発信

②当該発行の雑誌や館内掲示等による掲出

③Youtube での動画配信

④ 地域の無料広報誌

⑤

7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細			
7-(1).展示について			
展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細（「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）			
①	<table><tr><td>展示テーマ・内容 【内容：200 字程度】</td><td> ● 名 称：第一章 海が泣いている ● 主な展示物：大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容：海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介（5 分ほど）を新たに作成し、企画展入りの導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。 </td></tr></table>	展示テーマ・内容 【内容：200 字程度】	● 名 称：第一章 海が泣いている ● 主な展示物：大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容：海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介（5 分ほど）を新たに作成し、企画展入りの導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
展示テーマ・内容 【内容：200 字程度】	● 名 称：第一章 海が泣いている ● 主な展示物：大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容：海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介（5 分ほど）を新たに作成し、企画展入りの導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。		

6. 広報成果

6- (1) 申請事業の広報方法

申請フォーム

申請書データ(word)

6. 広報計画

6-(1). 申請事業の広報方法
6-(2). 配布物
6-(3). 掲出媒体

6-(1). 申請事業の広報方法 *

本企画展に関連した広報について該当するものにチェックをお願いします（予定を含む）
※複数回答可

- ☒ リリースで公開する
- ☒ HPで公開する
- ☒ ポスター・チラシで公開する
- ☒ 広報誌・会報誌等で公開する
- ☐ 新聞・CM等で公開する
- ☐ その他: _____

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム 1 「海の企画展サポート」 支援申請書
5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。

別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。

5-(1).印刷物件（製作物/サイズ/枚数） 例）企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚 ①ポスター B2判 100 枚 ② チラシ A4判 20000 枚 ③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部 ④ 出展作品図録 A4判 4色刷 50 項 1000 部 ⑤講座「テキスト」A4判 100 部	5-(2).制作物件（展示資料、看板等 製作物件） 例）館内用看板（ターボリン） ①屋外看板 ②地域の海を紹介する動画 3 点 ③エントランスバナーなどの看板 ④海生動物のグル封入標本 10 点 ⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点
---	---

6. 広報計画

6-(1). 申請事業の広報方法		
☒ リリースで公開する	☒ ポスター・チラシで公開する	☐ その他 ()
☒ HP で公開する	☒ 広報誌・会報誌等で公開する	
☒ SNS で公開する	☒ 新聞・CM 等で公開する	

配布物、掲出媒体等（予定含む）

6-(2). 配布物 例）企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校 ①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校 ②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公民館 ③ ④ ⑤	6-(3). 掲出媒体<掲出媒体> ※WEB、看板等 ①HP や SNS による情報発信 ②当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出 ③Youtube での動画配信 ④ 地域の無料広報誌 ⑤
--	---

7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1). 展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細

（「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

①	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が迎えている ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
---	--------------------------	---

3

6. 広報計画

6-(1). 申請事業の広報方法

☒ リリースで公開する	☒ ポスター・チラシで公開する	☐ その他 ()
☒ HP で公開する	☒ 広報誌・会報誌等で公開する	
☒ SNS で公開する	☒ 新聞・CM 等で公開する	

6. 広報成果

6-(2) 配布物

申請フォーム

6-(2).配布物

配布物・数量・配布先等の詳細をまとめて記入してください
例) 企画展チラシ/1,000枚/市内の小学校

配布物 ①

企画展チラシ/20000枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校

配布物 ②

企画展ポスター/100枚/地域自治体、図書館、公民館

配布物 ③

回答を入力

配布物 ④

回答を入力

配布物 ⑤

回答を入力

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム 1 「海の企画展サポート」 支援申請書

5. 事業成果物 ※ 本事業を通じて製作予定のもの。

別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。

5-(1).印刷物件 (製作物/サイズ/枚数)

例) 企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚

①ポスター B2判 100 枚

② チラシ A4 判 30000 枚

③ 展示解説書 A3 判 二つ折り 5000 部

④ 出展作品図録 A4 判 4 色刷 50 項 1000 部

⑤講座「テキスト」A4 判 100 部

5-(2).制作物件 (展示資料、看板等 製作物件)

例) 館内用看板 (ターポリン)

①屋外看板

②地域の海を紹介する動画 3 点

③エントランスバナーなどの看板

④海生動物のゲル封入標本 10 点

⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点

6. 広報計画

6-(1).申請事業の広報方法

☒リリースで公開する

☒HP で公開する

☒SNS で公開する

☒ポスター・チラシで公開する

☒広報誌・会報誌等で公開する

☒新聞・CM 等で公開する

☐その他 ()

配布物、掲出媒体等 (予定含む)

6-(2).配布物

例) 企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校

①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公

民館、市内の小学校

②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公

民館

③

④

⑤

6-(3).掲出媒体<掲出媒体>

※WEB、看板等

①HP や SNS による情報発信

②当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出

③Youtube での動画配信

④ 地域の無料広報誌

⑤

7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細

(「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

- 名 称:第一章 海が迫っている
- 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像
- 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。

配布物、掲出媒体等(予定含む)

6-(2).配布物

例) 企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校

①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公民館、市内の小学校

②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公民館

③

④

⑤

6.広報成果

6－(3)掲出媒体

申請フォーム

6-(3).掲出媒体

WEB、看板等の掲出方法を記入してください

掲出媒体 ①

HPやSNSによる情報発信

掲出媒体 ②

当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出

掲出媒体 ③

Youtubeでの動画配信

掲出媒体 ④

地域の無料広報誌

掲出媒体 ⑤

回答を入力

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

5. 事業成果物 ※本事業を通じて製作予定のもの。

別紙「申請事業予算書」と比較できるように同じ名称で記載してください。

5-(1).印刷物件（製作物/サイズ/枚数）

例) 企画展ポスター/B1 片面カラー/1,000 枚

①ポスター B2判 100 枚

② チラシ A4判 30000 枚

③ 展示解説書 A3判 二つ折り 5000 部

④ 出展作品図録 A4判 4色刷 50 項 1000 部

⑤講座「テキスト」A4判 100 部

5-(2).制作物件（展示資料、看板等 製作物件）

例) 館内用看板（ターボリン）

①屋外看板

②地域の海を紹介する動画 3 点

③エントランスバナーなどの看板

④海生動物のグル封入標本 10 点

⑤硬骨魚類の骨格標本 20 点

6. 広報計画

6-(1).申請事業の広報方法

☒リリースで公開する

☒HP で公開する

☒SNS で公開する

☒ポスター・チラシで公開する

☒広報誌・会報誌等で公開する

☒新聞・CM 等で公開する

☐その他 ()

配布物、掲出媒体等(予定含む)

6-(2).配布物

例) 企画展チラシ/1,000 枚/市内の小学校

①企画展チラシ/20000 枚/地域自治体、図書館、公

民館、市内の小学校

②企画展ポスター/100 枚/地域自治体、図書館、公

民館

③

④

⑤

6-(3).掲出媒体<掲出媒体>

※WEB、看板等

①HP や SNS による情報発信

②当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出

③Youtube での動画配信

④ 地域の無料広報誌

⑤

7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとに詳細

(「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

① 展示テーマ・内容
【内容:200 字程度】

- 名 称:第一章 海が込んでいる
- 主な展示:大型液晶モニターによる水中映像
- 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5分ほど)を新たに作成し、企画入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。

6-(3).掲出媒体<掲出媒体>

※WEB、看板等

①HP や SNS による情報発信

②当館発行の雑誌や館内掲示等による掲出

③Youtube での動画配信

④地域の無料広報誌

⑤

7.「海の学び」に関連した 事業内容の詳細

申請フォーム

7ページ～12ページ
展示について

13ページ～18ページ
付帯事業について

7.「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1)展示について（全6ページ）
7-(2)付帯事業について（全6ページ）

7-(1)展示について
展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細（「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

展示名称 ①
第一章 海が泣いている

主な展示物 ①
大型液晶モニターによる水中映像

内容①
展示内容を記入してください（200字以内）
海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介（5分ほど）を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。

展示の工夫と効果①
「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか 記入してください（300字以内）
世界中の海で起きている海ごみ問題と現状を映像で紹介することで、課題意識をもって展示を見てもらい導入とする。特に、メディア等で言葉として印象がある海ごみ問題について、具体的な映像や資料を用いることで、自分事として本課題について理解してもらい機会とする。

戻る 次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。
このフォームは 公益財団法人日本海陸科学館横浜館 内部で作成されました。不正利用の報告

Google フォーム

7-(2)付帯事業について

付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細（「海の学び」に関する工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

付帯事業名称①
展示名称を記入してください
ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう

開催日時①
記入例① 2025年7月11日～13日、10時～12時
記入例② 2025年7月中旬土曜日、11時～13時30分
2025年7月19日～21日、13時～15時、10時～12時

開催場所①
海洋博物館ワークショップルーム、O.Oの海岸

参加予定人数・開催回数①
記入例① 30名×3回、合計150名
記入例② 15名×4回、合計60名
30名×3回、合計150名

付帯事業の内容①
展示内容との関連性も高めて記入してください（200字以内）
館内で海ごみに関する解説を行ったのち、博物館では海洋を生き生きと体験できる、その場、館内へ集うことについて説明を受け、参加した海ごみについて工夫を行う。行動として海洋を生き生きとすることを通じて、環境保全の意識喚起の一助とする。

付帯活動による効果①
「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるかを記入してください（300字以内）
メディア等で知られている海ごみの問題を、海に生息する生物の生態系にまで広げ、よりリアルな海ごみの現状を知ってもらい、参加した海ごみについて自分事として意識させることに繋げていただく機会とする。また、工作活動を行うことで参加者に持ち帰った海ごみや資料が活動のきっかけとなり、自分事として本課題について理解してもらい機会とする。

戻る 次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。
このフォームは 公益財団法人日本海陸科学館横浜館 内部で作成されました。不正利用の報告

Google フォーム

申請書データ(word)

3枚目以降

海の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム「海の企画展サポート」支援申請書

7.「海の学び」に関連した事業内容の詳細
7-(1)展示について
展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細（「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

①	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が泣いている ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
	展示の工夫と効果 （「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか） 【300 文字程度】	● 世界中の海で起きている海ごみ問題と現状を映像で紹介することで、課題意識をもって展示を見てもらい導入とする。特に、メディア等で言葉として印象がある海ごみ問題について、具体的な映像や資料を用いることで、自分事として本課題について理解してもらい機会とする。
②	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
	展示の工夫と効果 （「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか） 【300 文字程度】	● ●
③	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
	展示の工夫と効果 （「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか） 【300 文字程度】	● ●
④	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:

7.「海の学び」に関連した 事業内容の詳細

7-(1)展示について

申請フォーム

申請書データ(word)

7.「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1).展示について (全6ページ)
7-(2).付帯事業について (全6ページ)

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細
(「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

展示名称 ①

第一章 海が泣いている

主な展示物 ①

大型液晶モニターによる水中映像

内容①

展示内容を記入してください(200字以内)

海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。

展示の工夫と効果①

「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか 記入してください(300字以内)

世界中の海で起きている海ごみ問題と現状を映像で紹介することで、課題意識をもって展示を見てもらい導入とする。特に、メディア等で言葉として印象がある海ごみ問題について、具体的な映像や資料を用いることで、自分事として本課題について理解してもらい機会とする。

戻る

次へ

7/23 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム「海の企画展サポート」支援申請書

7.「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細

(「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

①	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が泣いている ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
	展示の工夫と効果 (「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか) 【300 文字程度】	● 世界中の海で起きている海ごみ問題と現状を映像で紹介することで、課題意識をもって展示を見てもらい導入とする。特に、メディア等で言葉として印象がある海ごみ問題について、具体的な映像や資料を用いることで、自分事として本課題について理解してもらい機会とする。

②	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
	展示の工夫と効果 (「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか) 【300 文字程度】	●

③	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
	展示の工夫と効果 (「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか) 【300 文字程度】	●

7-(1).展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細

(「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

①	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が泣いている ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
	展示の工夫と効果 (「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか) 【300 文字程度】	● 世界中の海で起きている海ごみ問題と現状を映像で紹介することで、課題意識をもって展示を見てもらい導入とする。特に、メディア等で言葉として印象がある海ごみ問題について、具体的な映像や資料を用いることで、自分事として本課題について理解してもらい機会とする。

7.「海の学び」に関連した 事業内容の詳細

7-(1)展示について

申請フォーム

申請書データ(word)

指定の書式より、章が増える場合

■申請書データ(word)
適宜枠を増やして記載をお願いします。

■申請フォーム
申請フォーム内12ページの自由記述欄に章ごとに必要事項を記入してください

6章以上になる場合は、下記自由記述欄に展示の章ごとに必要事項を記入してください

- 必要事項
展示番号（6～）
- ①展示名称
 - ②主な展示物
 - ③内容（200字以内）
 - ④展示の工夫と効果（300字以内）

回答を入力

戻る

次へ

12/23 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム 1 「海の企画展サポート」 支援申請書

7.「海の学び」に関連した事業内容の詳細

7-(1)展示について

展示を構成する章やテーマを全て記載の上、各章やテーマごとの詳細
（「海の学び」に関する展示の工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

①	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称:第一章 海が泣いている ● 主な展示物:大型液晶モニターによる水中映像 ● 内 容:海洋研究所が行う最新の研究情報を盛り込んだ海ごみに関する映像紹介(5 分ほど)を新たに作成し、企画展入り口の導入として公開する。本企画展のテーマについてインパクトある映像を上映し、海ごみの現状を理解していただく。
	展示の工夫と効果 （「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか） 【300 文字程度】	● 世界中の海で起きている海ごみ問題と現状を映像で紹介することで、課題意識をもって展示を見てもう導入とする。特に、メディア等で言葉として印象がある海ごみ問題について、具体的な映像や資料を用いることで、自分事として本課題について理解してもらう機会とする。

②	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
	展示の工夫と効果 （「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか） 【300 文字程度】	● ●

③	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
	展示の工夫と効果 （「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるか） 【300 文字程度】	● ●

④	展示テーマ・内容 【内容:200 字程度】	● 名 称: ● 主な展示物: ● 内 容:
---	--------------------------	--

7.「海の学び」に関連した 事業内容の詳細

7-(2)付帯事業について

申請フォーム

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

7-(2)付帯事業について
付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細
（「海の学び」に関する工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

①	● 付帯事業名称: ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう ● 日 時: 2025 年 7 月 19 日～21 日、1 日 1 回、10 時～12 時 ● 場 所: 海洋博物館ワークショップルーム、〇〇海岸 ● 参加予定人数・開催回数: 50 名×3 回、合計 150 名	
	付帯事業内容 （展示との関連性） 【200 文字程度】	館内で海ごみに関する解説を行ったのち、博物館そばの海岸を歩きビーチクリーンを行う。その後、採取した海ごみについて分類分けをし、得られた海ごみで工作を行う。行動として海岸をきれいにすることを通じて、環境保全の意識情勢の一助とする。
	「海の学び」活動として、 どのような効果が見込めるか 【300 文字程度】	● メディア等で知られている海ごみの実態を実際に、海に足を運び実際に見てもらうことで、よりリアルな海ごみの現状を知ってもらい、自分たちの生活の中で振り返ることや意識づけることに結び付けていただく機会とする。 ● また、工作活動を行うことで自宅に持ち帰った後も海を守る意識の継続につながる。本活動を通して、海への親しみから海の現状を知り、守る意識に結びつける。

● 事業名
● 日 時: 20 年 月 日
● 場 所

7-(2)付帯事業について

付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細

（「海の学び」に関する工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

①	● 付帯事業名称: ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう ● 日 時: 2025 年 7 月 19 日～21 日、1 日 1 回、10 時～12 時 ● 場 所: 海洋博物館ワークショップルーム、〇〇海岸 ● 参加予定人数・開催回数: 50 名×3 回、合計 150 名	
	付帯事業内容 （展示との関連性） 【200 文字程度】	館内で海ごみに関する解説を行ったのち、博物館そばの海岸を歩きビーチクリーンを行う。その後、採取した海ごみについて分類分けをし、得られた海ごみで工作を行う。行動として海岸をきれいにすることを通じて、環境保全の意識情勢の一助とする。
	「海の学び」活動として、 どのような効果が見込めるか 【300 文字程度】	● メディア等で知られている海ごみの実態を実際に、海に足を運び実際に見てもらうことで、よりリアルな海ごみの現状を知ってもらい、自分たちの生活の中で振り返ることや意識づけることに結び付けていただく機会とする。 ● また、工作活動を行うことで自宅に持ち帰った後も海を守る意識の継続につながる。本活動を通して、海への親しみから海の現状を知り、守る意識に結びつける。

7-(2)付帯事業について

付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細（「海の学び」に関する工夫や見込める効果）を記入してください（予定を含む）

付帯事業名称①

展示名称を記入してください

ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう

開催日時①

記入例①) 2025年7月11日～13日、10時～12時
記入例②) 2025年7月中毎土曜日、11時～11時30分

2025年7月19日～21日、1日1回、10時～12時

開催場所①

海洋博物館ワークショップルーム、〇〇海岸

参加予定人数・開催回数①

記入例①) 50名×3回、合計150名
記入例②) 10名×4回、合計40名

50名×3回、合計150名

付帯事業の内容①

展示内容との関連性も含めて記入してください（200字以内）

館内で海ごみに関する解説を行ったのち、博物館そばの海岸を歩きビーチクリーンを行う。その後、採取した海ごみについて分類分けをし、得られた海ごみで工作を行う。行動として海岸をきれいにすることを通じて、環境保全の意識情勢の一助とする。

付帯活動による効果①

「海の学び」活動として、どのような効果が見込めるかを記入してください（300字以内）

メディア等で知られている海ごみの実態を実際に、海に足を運び実際に見てもらうことで、よりリアルな海ごみの現状を知ってもらい、自分たちの生活の中で振り返ることや意識づけることに結び付けていただく機会とする。また、工作活動を行うことで自宅に持ち帰った後も海を守る意識の継続につながる。本活動を通して、海への親しみから海の現状を知り、守る意識に結びつける。

戻る

次へ

13/23 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 公益財団法人日本海事科学館 内部で作成されました。 正真正正の組織

Google フォーム

7.「海の学び」に関連した 事業内容の詳細

7-(2)付帯事業について

申請フォーム

申請書データ(word)

活動数が5以上の場合は、各活動ごとの必要事項を 自由記述欄に記入してください

記入例)

活動番号 (6～)

① 付帯事業名称

②開催日時

③開催場所

④参加予定人数・開催回数

⑤付帯事業の内容(200字以内)

⑥付帯活動による効果(300字以内)

回答を入力

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

指定の書式より、章が増える場合

■申請書データ(word)
適宜枠を増やして記載をお願いします。

■申請フォーム
申請フォーム内18ページの自由記述欄に、章ごとに必要事項を記入してください

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

7-(2)付帯事業について

付帯事業を全て記載の上、各事業の詳細

(「海の学び」に関する工夫や見込める効果)を記入してください(予定を含む)

①	● 付帯事業名称:ペットボトルでリサイクルキーホルダーを作ろう ● 日 時:2025 年 7 月 19 日～21 日、1 日 1 回、10 時～12 時 ● 場 所:海洋博物館ワークショップルーム、〇〇海岸 ● 参加予定人数・開催回数:50 名×3 回、合計 150 名	館内で海ごみに関する解説を行ったのち、博物館そばの海岸を歩きビーチクリーンを行う。その後、採取した海ごみについて分類分けをし、得られた海ごみで工作を行う。行動として海岸をきれいにすることを通じて、環境保全の意識情勢の一助とする。
	「海の学び」活動として、 どのような効果が見込めるか 【300 文字程度】	● メディア等で知られている海ごみの実態を実際に、海に足を運び実際に見てもらうことで、よりリアルな海ごみの現状を知ってもらい、自分たちの生活の中で振り返ることや意識づけることに結び付けていただく機会とする。 ● また、工作活動を行うことで自宅に持ち帰った後も海を守る意識の継続につながる。本活動を通して、海への親しみから海の現状を知り、守る意識に結びつける。

②	● 事業名: ● 日 時:20 年 月 日 ● 場 所: ● 〇名×〇回等	付帯事業内容 (展示との関連性) 【200 文字程度】
	「海の学び」活動として、 どのような効果が見込めるか 【300 文字程度】	●

③	● 事業名: ● 日 時:20 年 月 日 ● 場 所: ● 〇名×〇回等	付帯事業内容 (展示との関連性) 【200 文字程度】
	「海の学び」活動として、 どのような効果が見込めるか	●

8.本企画展に関連した他の博物館や機関、学校など地域社会との連携について

申請フォーム

19、20ページ目

申請書データ(word)

8.本企画展に関連した連携について

本企画展に関連した他の博物館や機関、学校など地域社会との連携について詳細を記入してください。(予定を含む)

連携先名称①
連携先機関、団体名を記入してください

連携内容①
連携の内容を記入してください

連携先名称②
連携先機関、団体名を記入してください

連携内容②
連携の内容を記入してください

連携先名称③
連携先機関、団体名を記入してください

連携内容③
連携の内容を記入してください

連携先名称④
連携先機関、団体名を記入してください

連携内容④
連携の内容を記入してください

連携先名称⑤
連携先機関、団体名を記入してください

連携内容⑤
連携の内容を記入してください

戻る 次へ

Google フォーム



連携先が5以上の場合は、連携先ごとの必要事項を自由記述欄に記入してください

連携先名称⑥以降
必要事項
連携先番号 (6~)
①連携先名称
②連携内容

回答を入力

戻る 次へ

20/23 ページ

Google フォーム

8.本企画展に関連した他の博物館や機関、学校など地域社会との連携について詳細(予定を含む)

	連携先(機関、団体名)	連携内容
①	海洋研究所	最新の海洋調査のデータ・資料の借用。展示内容の監修。企画展関連の講演会の実施。
②		
③		
④		

※表が不足する場合は適宜追加すること

指定の書式より、連携先が増える場合

■申請書データ(word)
適宜枠を増やして記載をお願いします。

■申請フォーム
申請フォーム内20ページの自由記述欄に、章ごとに必要事項を記入してください

9.博物館基本情報

申請フォーム

21、22ページ目

申請書データ(word)

9-(1).博物館情報

9-(2).「海の学び」につながる主な企画展・特別展

9-(3).「海の学び」につながる企画展・特別展以外の博物館活動

9-(4).学校との連携事業

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

博物館基本情報

9-(1).博物館情報

設立分類	・国 ・地方公共団体 ・独立行政法人 ・一般財団法人 ・公益財団法人
※該当を○で囲んでください	・一般社団法人 ・公益社団法人 ・学校法人 ・宗教法人 ・NPO 法人 ・会社組織 ・その他()
開催博物館の分類	・総合博物館 ・歴史博物館 ・美術館 ・科学博物館 ・水族館 ・動物園
※該当を○で囲んでください	・植物園 ・文学館 ・図書館 ・その他()
博物館の種別	・登録博物館 ・博物館相当施設 ・博物館類似施設 ・その他()
※該当を○で囲んでください	
公式ウェブサイト URL 等	【HP】 http://www.00000000.or.jp/
常設展示のおもな内容	・○○○○コーナー：○○○や○○○○を展示 ・▽▽▽▽コーナー：□□□のほか○○○○などを中心に展示 ・○○○○ゾーン：○○○や○○○○を展示 ・××××ゾーン：□□□や△△△を展示イベント展開
展示関連部署職員数／合計職員数	15人／30人
年間事業費／年間運営費(前年度)	10,000,000 円 / 1,500,000,000 円
年間入場者数 ※前年度までの3箇年分	2021年度:100000 人 2022年度:100000 人 2023年度:100000 人

9-(2). 過去に開催した「海の学び」につながる主な企画展・特別展の名称・会期・入場者数

名称	会期	入場者数
海の生き物大集合！	2022 年 7 月 20 日～2022 年 9 月 30 日	12000 人
	年 月 日～ 年 月 日	人

9-(3).「海の学び」につながる企画展・特別展以外の博物館活動

名称	概要
生き物探検隊	磯の生き物観察会

9-(4).学校との連携事業

名称	概要
環境学習の実施	総合的学習の時間にて、学年に応じた海に関する環境学習の実施

10.簡易アンケートご協力のお願い

ご申請にあたり、本サポートについてどちらでお知りになりましたか？該当項目に☑をお願いします。
※なお、本質問に対するご回答と選考は一切関係ありません。

☐ 「海の学び ミュージアムサポート」ホームページ ☐ 船の科学館からのダイレクトメール
☐ 日本博物館協会からの案内 ☐ 日本動物園水族館協会からの案内
☐ 他館からの紹介（きつかけなければどちらの館か教えてください： ）
☐ その他（ ） ご協力いただき、ありがとうございました。

9.博物館基本情報

9－(1)博物館情報

申請フォーム

申請書データ(word)

9-1) 博物館基本情報

※国・地方公共団体・独立行政法人・一般財団法人・公益財団法人
 ※一般社団法人・公益社団法人・学校法人・宗教法人・NPO法人
 ※法人格のない団体

9-2) 博物館情報

設立の種別

☐ 国
☐ 地方公共団体
☐ 独立行政法人
☐ 一般財団法人
☒ 公益財団法人
☐ 一般社団法人
☐ 公益社団法人
☐ 学校法人
☐ 宗教法人
☐ NPO法人
☐ その他

設置管理団体の名称

☐ 国
☐ 地方公共団体
☐ 独立行政法人
☒ 一般財団法人
☐ 公益財団法人
☐ 一般社団法人
☐ 公益社団法人
☐ 学校法人
☐ 宗教法人
☐ NPO法人
☐ その他

博物館の種別

☒ 総合博物館
☐ 歴史博物館
☐ 美術館
☐ 科学博物館
☐ 水族館
☐ 動物園
☐ 植物園
☐ 文学館
☐ 図書館
☐ その他

公式ウェブサイト URL 等

【HP】 <http://www.00000000.or.jp/>

常設展示のおもな内容

・○○○○コーナー：○○○や○○○○を展示
 ・▽▽▽▽コーナー：□□□のほか○□○○○などを中心に展示
 ・○○○○ゾーン：○○○や○○○○を展示
 ・××××ゾーン：□□□や△△△△を展示しイベント展開

展示関連部署職員数／合計職員数

15人／30人

年間事業費／年間運営費(前年度)

10,000,000 円 / 1,500,000,000 円

年間入場者数

※前年度までの3箇年分

2021年度:100000人
 2022年度:100000人
 2023年度:100000人

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

9) 博物館基本情報

9-(1). 博物館情報

設立分類	☐ 国 ☐ 地方公共団体 ☐ 独立行政法人 ☐ 一般財団法人 ☒ 公益財団法人 ☐ 一般社団法人 ☐ 公益社団法人 ☐ 学校法人 ☐ 宗教法人 ☐ NPO法人 ☐ 会社組織 ☐ その他()
開催博物館の分類	☐ 総合博物館 ☐ 歴史博物館 ☐ 美術館 ☒ 科学博物館 ☐ 水族館 ☐ 動物園 ☐ 植物園 ☐ 文学館 ☐ 図書館 ☐ その他()
博物館の種別	☒ 登録博物館 ☐ 博物館相当施設 ☐ 博物館類似施設 ☐ その他()
公式ウェブサイト URL 等	【HP】 http://www.00000000.or.jp/
常設展示のおもな内容	・○○○○コーナー：○○○や○○○○を展示 ・▽▽▽▽コーナー：□□□のほか○□○○○などを中心に展示 ・○○○○ゾーン：○○○や○○○○を展示 ・××××ゾーン：□□□や△△△△を展示しイベント展開
展示関連部署職員数／合計職員数	15人／30人
年間事業費／年間運営費(前年度)	10,000,000 円 / 1,500,000,000 円
年間入場者数	2021年度:100000人
※前年度までの3箇年分	2022年度:100000人
	2023年度:100000人

9-(2). 過去に開催した「海の学び」につながる主な企画展・特別展の名称・会期・入場者数

名称	会期	入場者数
海の生き物大集合！	2022年7月20日～2022年9月30日	12000人
	年 月 日～ 年 月 日	人

9-(3). 「海の学び」につながる企画展・特別展以外の博物館活動

名称	概要
生き物探検隊	磯の生き物観察会

9-(4). 学校との連携事業

名称	概要
環境学習の実施	総合的学習の時間にて、学年に応じた海に関する環境学習の実施

10. 簡易アンケートご協力をお願い

ご申請にあたり、本サポートについてどちらでお知りになりましたか？該当項目に☑をお願いします。

※なお、本質問に対するご回答と選考は一切関係ありません。

☐ 「海の学び ミュージアムサポート」ホームページ ☐ 船の科学館からのダイレクトメール

☐ 日本博物館協会からの案内 ☐ 日本動物園水族館協会からの案内

☐ 他館からの紹介（きしつかえなければどちらの館か教えてください： ）

☐ その他（ ） ご協力いただき、ありがとうございました。

9-(2)~(4)

Google フォームでパスワードを記憶しないでください。

このフォームは 公益財団法人日本経済新聞財団 内でホストされました。 不正アクセスの報告

Google フォーム

申請書データ(word)

10. 簡易アンケートご協力のお願い
ご申請について、本サポートについてどちらでもお知りになりましたか？該当項目に☑をお願いします。
※なお、本機関に対するご回答と連帯は一切関係がありません。

☐「海」の字び ミュージアサポート」 ホームページ ☐ 船の科学館からのダイレクトメール
☐ 日本博物館協会からの案内 ☐ 日本動物園水族館協会からの案内

☐ その他からの紹介（きつなければどちらの欄か教えてください）

☐ その他 ☐ 協力いただき、ありがとうございます

10.簡易アンケートご協力をお願い

10.簡易アンケートご協力をお願い

該当項目に☑をお願いします。※なお、本質問に対するご回答と選考は一切関係がありません。

ご申請にあたり、本サポートについてどちらでお知りになりましたか？ *

- ☐ 「海の学び ミュージアムサポート」ホームページ
- ☒ 船の科学館からのダイレクトメール
- ☐ 日本博物館協会からの案内
- ☐ 日本動物園水族館協会からの案内
- ☐ 他館からの紹介
- ☐ その他:

申請書の項目は以上になります。

本フォームに記入した申請内容については、必ず保管されますようお願いいたします。

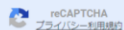
船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

<問い合わせ先>
公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事務局
〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目8番3号 汐留エッジ5階
TEL: 03-5500-1113 FAX: 03-5500-1190

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

[戻る](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



このフォームは、公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

申請フォーム

23ページ目

申請書データ(word)

船の科学館「海の学び ユージアムサポート」
プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

博物館基本情報

①-1) 博物館情報

設立分類 ※該当を○で囲んでください。	・国 ・地方公共団体 ・独立行政法人 ・一般財団法人 公益財団法人 ・一般社団法人 ・公益社団法人 ・学校法人 ・宗教法人 ・NPO 法人 ・会社組織 ・その他()
開催博物館の分類 ※該当を○で囲んでください。	・総合博物館 ・歴史博物館 ・美術館 科学博物館 ・水族館 ・動物園 ・植物園 ・文学館 ・図書館 ・その他()
博物館の種別 ※該当を○で囲んでください。	登録博物館 ・博物館相当施設 ・博物館類似施設 ・その他()
公式ウェブサイト	URL等 【HP】 http://www.00000000.or.jp/
常設展示のおもな内容	・○○○○コーナー：○○○や○○○○を展示 ・▽▽▽▽コーナー：□□□のほか○○○○などを中心に展示 ・○○○○ゾーン：○○○や○○○を展示 ・××××ゾーン：□□□や△△△を展示しイベント展開
展示関連部署職員数/合計職員数	15人/30人
年間事業費/年間運営費(前年度)	10,000,000 円 / 1,500,000,000 円
年間入場者数	2021 年度: 100000 人
※前年度までの3 箇年分	2022年度: 100000 人 2023年度: 100000 人

9(2) 過去に開催した「海の学び」につながる主な企画展・特別展の名称・会期・入場者数

名称	会期	入場者数
海の生き物大集合!	2022 年 7 月 20 日～2022 年 9 月 30 日	12000 人
	年 月 日～ 年 月 日	人

9(3) 「海の学び」につながる企画展・特別展以外の博物館活動

名称	概要
生き物探検隊	磯の生き物観察会

9(4) 学校との連携事業

名称	概要
環境学習の実施	総合学習の時間にて、学年に応じた海に関する環境学習の実施

10.簡易アンケートご協力のお願い

ご申請にあたり、本サポートについてどちらでお知りになりましたか？該当項目に☑をお願いします。

※なお、本質問に対するご回答と選考は一切関係がありません。

- ☐「海の学び ミュージアムサポート」ホームページ ☐船の科学館からのダイレクトメール
☐日本博物館協会からの案内 ☐日本動物園水族館協会からの案内
☐他館からの紹介（さしつかえなければどちらの館から教えてください： ）
☐その他（ ） ご協力いただき、ありがとうございました。

申請完了について



2025年度 プログラム1「海の企画展サ ポート」支援申請書

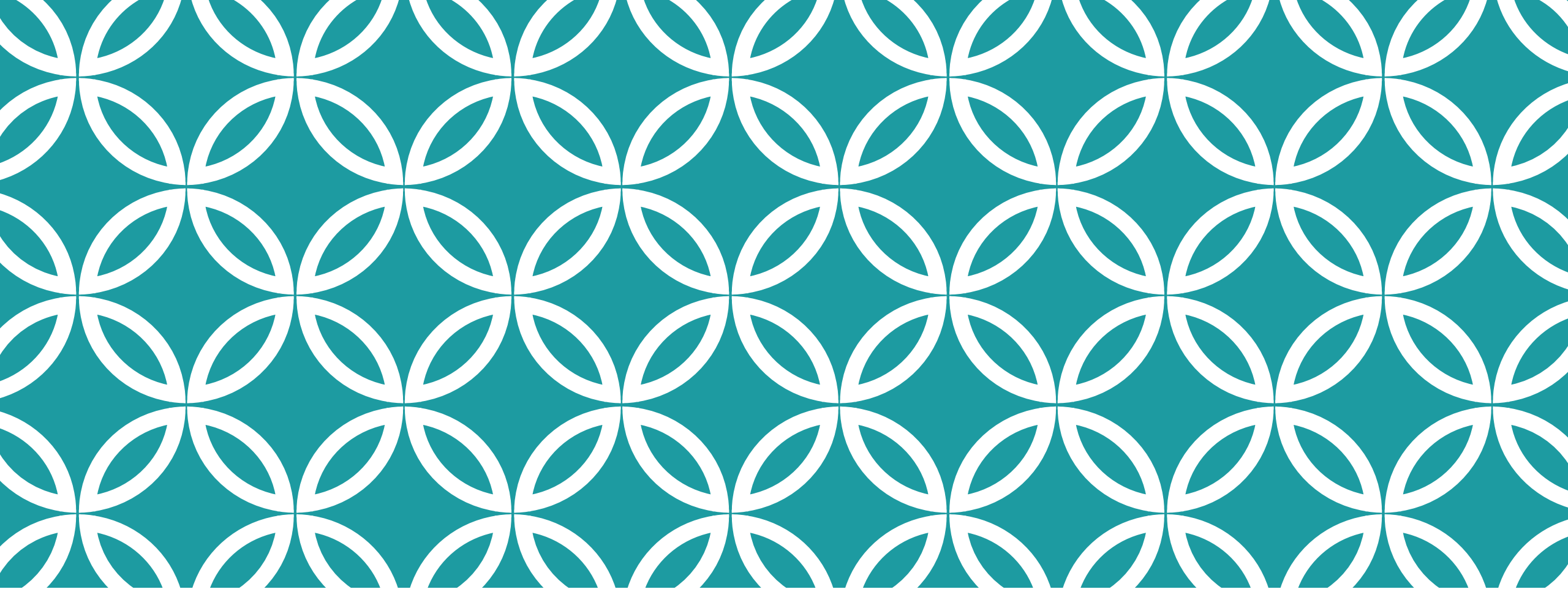
ご申請いただきありがとうございました。

[回答を編集](#)

このフォームは 公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

- こちらの画面まで表示されたら、申請完了です。
- 同時に、申請時に記入いただいたメールアドレスにご申請内容が記載された申請受領確認メールが届きます。



V. 申請後

回答の編集について

- 「回答の編集」は、受付期間中に行うことができます。
- 受付期間後の「回答の編集」はお受けできませんのでご注意ください。

申請フォーム最終ページ



2025年度 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

ご申請いただきありがとうございました。

[回答を編集](#)

このフォームは 公益財団法人日本海事科学振興財団 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

申請受領確認メール(自動返信)

2025年度 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書 [返信を返信](#)

Google フォーム <forms-receipts-nonreply@google.com>
To 自分

Google Forms

「2025年度 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書」にご記入いただきありがとうございます

[フォームの回答](#)

[回答を編集](#)

2025年度 プログラム1「海の企画展サポート」支援申請書

1. 申請者
2. 申請事業
3. 添付資料
4. 事業計画
5. 事業成果物
6. 広報計画
7. 「海の学び」に関連した事業内容の詳細
8. 本企画展に関連した他の博物館や機関、学校など地域社会との連携について
9. 博物館基本情報
10. 結果アンケートご協力のお願い

「回答を編集」をクリックすると編集(修正・追加・アップロードし直し)が可能です。

回答の編集について(続き)

- 最終提出日＝申請日のため「回答の編集」を行う場合は、フォーム1ページ目の「申請日」の修正もお願いします。
- 編集内容は「送信」をしないと反映されません。途中ページの修正でも、必ず申請フォームの最終ページ(23ページ)までお進みいただき、「送信」をしてください。送信が完了すると、申請時と同じく「申請受領確認メール(自動返信)」が届きます。

選考結果について

▶選考結果について

文書をもって、選考の結果をお知らせします。なお、選考結果のお問い合わせには、お答えできませんのでご了承ください。

▶通知の予定

来年3月ごろ 採択事業の内示通知を予定

来年4月 ご申請いただいた皆様に結果を書面にて通知を予定

変更履歴

改訂番号	改訂日	変更内容
Ver 0.0.1	2024/10/28	・p.5 誤字脱字の修正
Ver 1.0	2024/11/1	・「IV. フォーム記入」、「V.申請後」項目の追記 ・その他 項目の変更・誤字修正・追記